

令和 2 年度

八尾市市民活動支援業務及び
機器使用料徴収事務に係る業務報告書

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク

= 目次 =

1. はじめに	1
2. 本編【 業務報告 】		
2.1. 中間支援業務		
2.1.1. 情報収集・発信業務	2
2.1.2. 公益的活動の支援業務	3
2.1.3. 公益的活動への参加支援業務	4
2.1.4. 活動主体の連携・協力促進業務（コーディネート・マッチング）	4
2.1.5. 活動主体による公益的の活性化に向けて取り組み検討	4
2.2. 「つどい」の管理運営業務・組織体制・業務報告及び評価		
2.2.1. 管理運営の時間帯等	5
2.2.2. 管理運営業務の内容	5
2.3. 組織体制	6
2.4. 業務の目標、項目及び達成状況（マネジメントサイクル）	8
2.5. 課題と改善点	13

1. はじめに

八尾市市民活動支援ネットワークセンターは、平成 16（2004）年 10 月に市民活動・ボランティア活動の拠点として、市民活動団体と長年の協議のうえ、八尾市が設置しました（愛称は「つどい」）。

運営は八尾市より「特定非営利活動法人 やお市民活動ネットワーク」が受託しています。

さて、「多様な活動主体による協働づくりと公益を産み出す中間支援センター」を目指し、市民活動団体やこれから携わりたい方に加え、多様な活動主体（地域活動団体や社会貢献活動を行う事業者、学校園等）を支援・連携をコーディネートする中間支援センターとして令和 2（2020）年度も運営を行って参りました。

しかし、令和 2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、上半期は 9 月末まで臨時休館となり、下半期に入った 10 月に開館及び業務の再開となりました。

その間、多様な活動主体における活動自粛により、行事が軒並み中止・延期になりました。

転換期の真っ只中、「つどい」では、これまでの活動の振り返りと今後の活動のあり方を見つめ直し、活動自粛時における中間支援組織の支援について考えさせられた 1 年になりました。

「つどい登録団体」の登録状況確認を 8 年ぶりに実施し、結果 346 団体中 87 団体が登録廃止の申請があり、活動休止や団体の解散が相次ぎました。

「つどい」館内の利用状況は、来館者数・部屋利用数・設備利用数では、例年に比べ軒並み半数以下（中には 4 分の 1 以下）に落ち込む中、相談業務での相談件数の落ち込みは 2 割強に留まりました。

多様な活動主体及び市民活動に携わりたい方に対する支援の需要があることを実感しました。

最後に、中間支援を行う人材発掘・育成は、引き続き、スタッフの世代交代を進め、20 世紀を知らない 20 代の若年層が携わる体制を構築することが出来ました。

コロナ禍の令和の新しい時代を、「人づくり・人育て」へ向けて、若年層の発想力等で切り開いて行けるように共に歩んで行く 1 年となりました。

ここに、本年度の八尾市民活動支援ネットワークセンターの業務活動を報告させていただきます。

令和 3（2021）年 3 月

特定非営利活動法人 やお市民活動ネットワーク
理事長 西田 裕
副理事長 兼 事務局長
（つどい業務責任者） 新福 泰雅

2. 本編【業務報告】

2.1. 中間支援業務

2.1.1. 情報収集・発信業務

(1) 情報収集

■ 活動情報の収集

FMちゃお「情報プラザやお」の収録や取材に出向き、各種活動団体の活動内容を収集した。

■ NPO・中間支援に関する事例の収集

つどいスタッフに NPO・中間支援・地域分権に関する素養を身に着けるため、書籍から事例等を収集した。

■ 地域活動団体の情報収集

9月に久宝寺小学校区まちづくり協議会・久宝寺地区福祉委員会の共同発行冊子「久宝寺地区地域活動まるわかりガイド このゆびと一まれ！」について、ヒアリング収集・意見交換を実施。

■ 八尾市関係の情報収集

「新やお改革プラン及び実施計画」を八尾市ホームページより収集した。

■ 地域拠点施設の訪問による情報の収集

8月～9月に10ヶ所訪問を行い、コミュニティ推進スタッフや校区まちづくり協議会から情報を収集した。

■ 交流会開催時の情報の収集

山本コミセンラウンドテーブルを5回開催し、参加された校区まちづくり協議会・山本出張所から情報を収集した。

(2) 情報発信

■ 従来からの情報発信

- ・つどいホームページへの「つどい登録団体」情報の掲載。
- ・つどいホームページ・つどいブログ・SNS (Face book 等) を使った各種活動情報の発信 (38件)。
- ・「つどいブログ」への助成金募集情報の掲載 (21件)。
- ・こども政策課の『八尾市こどもサイト「あつまれ八尾っ子！！」イベントカレンダー』への「つどい登録団体」情報の掲載 (9件)。
- ・取材は3件実施 (SNS から2件を情報発信)。

※ 機関紙「つどいの定期便」の発行は、臨時休館の延長及び市民活動団体へのイベント開催の自粛要請により、発行を延期。

- ・館内及び館外のチラシ・パンフレット配架コーナーで配架を実施。
- ・つどい登録団体の「紹介カード掲示コーナー」の紹介カード配架を実施。

■ 「つどい」自身の情報発信

- ・登録団体「華めだか彩鱗庵」から提供された孵化したメダカを37世帯に無償譲渡。初めて来館する機会を提供し、同時に「つどいパンフレット」を提供し、「つどい」をPRした。

2.1.2. 公益的活動の支援業務

(1) 活動主体が必要としている情報等の提供

- ・今年度は6件の情報提供を実施。
- ・コロナ禍によるマスク寄贈の際に、100枚寄贈された団体に関する情報を募集元へ提供。
- ・校区まちづくり協議会が参加する「山本コミセンラウンドテーブル」において八尾市の情報や地域活動の情報を提供。
- ・コミュニティ推進スタッフへ出張所訪問及び地域活動団体への情報収集から地域分権に関する特徴的な点を情報提供。

(2) 相談

■ スタッフによる一般相談対応及び行政書士による専門家相談

- ・一般相談対応

今年度は半年間臨時休館(4月～9月)である中、昨年より相談件数が37件の減少(▲21.5%)に留まり、135件となった。

<相談業務記録>

相談内容 (複数該当あり)				活動主体								相談分類		
紹介・提案	レクチャー	助成金対応	その他	市民	市民活動団体	地域活動団体	行政	公共施設	事業者	教育機関	その他	設立相談	運営相談	NPO法人以外
117	16	2	0	41	46	14	10	1	19	3	1	5	3	127
135				135								135		

なお、相談業務記録は前項の「2.1.1.(1) 情報収集」業務の聞き取りも兼ねてデータベースに入力した。

- ・専門家相談会

特定行政書士の金光一輝氏に依頼。臨時休館もあり相談がなかった。

また八尾市が行政書士の相談を実施していることから、今年度末で専門家相談会を停止した。

(3) スキルアップの支援

■ 「つどい井戸端会議」をオンライン開催時にZoomのやり方をレクチャー

- ・Zoom未経験者がチャレンジして参加した時に電話等で操作等を支援した。

2.1.3. 公益活動への参加支援業務

(1) 体験会の開催

- ・今年度は、2回開催。引き続き、『特定非営利活動法人自然環境会議八尾』と『エコロジー美園小』が中心になって中環の森にて、「つどい体験会」を実施出来た。

(2) その他 参加支援業務

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止により今年度は未実施。

2.1.4. 活動主体の連携・協力促進業務（コーディネートマッチング）

(1) 交流会の開催

- ・今年度は、計11回開催。

<内訳>

「つどい支援井戸端会議」開館を再開した10月から3月まで毎月1回、計6回

「山本コミセンラウンドテーブル」計5回（4月のみ開催を自粛）

- ・「つどい井戸端会議」では、特にテーマは定めず、協働や活動の悩みを共有した。コロナ禍で臨時休館後の開館時に参加者同士の再会する機会を提供した。また1月からZoomを活用したりリモート体験・チャレンジをする機会を提供した。
- ・「山本コミセンラウンドテーブル」では、地域活動団体の会長同士の顔合せの場となり、他小学校区での事業の取組み方の共有や、校区まちづくり協議会に関する情報提供に努めた。

(2) 連携・協力のコーディネート

- ・相談対応後の経過状況は、団体紹介等のマッチングが大半【マッチング数：31件】。
- ・「久宝寺寺内町で婚活」の事例紹介と顔合わせを12月に実施した（事業者と校区まちづくり協議会）。

2.1.5. 活動主体による公益的活動の活性化に向けての取り組みの検討

(1) 活動主体からの意見収集

- ・「コミュニティ推進スタッフ会議」にて、コミュニティ推進スタッフから得た質問を収集し意見交換を実施。

(2) 他都市における先進的な取組事例の収集・分析

- ・「中間支援・NPOに関するスタッフ学習会」を5月～8月まで10回実施。
- ・芸術文化振興について、他都市の取組事例を収集（門真市「ルミエーホール」の指定管理者「特定非営利活動法人トイボックス」の取組み）。

(3) 公益的活動の活発化に向けて取り組みの検討

- ・八尾市自治振興委員会の相談対応から地域分権推進・活性化の助言を行った。
- ・地域分権の推進につなげるための八尾市の市民会議・審議会へ参画した内容を共有した。
- ・「校区まちづくり協議会」と「地区福祉委員会」における構成団体に関する比較を図解でまとめた。
- ・市民活動団体の若年層有志の協力による清掃活動を通じたつながりづくり及び提案を実施。
- ・「ホームページを活用した環境活動の情報提供」の実施準備を検討した。
- ・八尾市の市民会議・審議会等の情報収集から今後の公益的活動の活発化に向けた検討準備

を行った（八尾市環境総合計画改定市民ワークショップ・八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議）。

- ・【久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびと一まれ！」】作成を通じた「地域分権のあり方意見交換」を実施した。
- ・八尾市第6次総合計画施策 No. 30「地域のまちづくり支援・市民活動の推進」の指標検討案の提案を実施した。
- ・八尾市審議会・市民委員の情報共有を実施した（八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議）。
- ・「第11回プリズム運営ネットワーク会議」へ参加。

2.2. 「つどい」の管理運営業務・組織体制報告及び評価

2.2.1. 管理運営の時間帯等

■開館日数 125日（4月～9月まで新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館）

■開館日時

平日（水曜日から金曜日）：10時～21時

土曜日・日曜日・祝日：10時～18時

■休館日

月曜日・火曜日

年末年始（12月29日から翌年1月3日まで6日間）

市長が特に必要と認める日

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止により、4月～9月まで臨時休館となった。

2.2.2. 管理運営業務の内容

(ア) 登録団体の募集・廃止及び登録団体との連絡業務

令和2年3月末で349団体 ▲9（前年度：355団体）

登録団体：5団体、登録廃止：11団体

登録状況の確認を11月～1月まで実施した。

登録団体349団体の内、87団体が登録廃止申請を行った。

（団体名等は、「つどいホームページ」の「つどい登録団体紹介」を参照）

(イ) メールボックスの利用団体募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務

メールボックス利用団体数：52団体（前年度：52団体）

メールボックス利用登録案内は、臨時休館対応により更新依頼を停止。

メールボックス利用申請時にA3用紙まで保管出来る引出の貸出を引き続き実施。

(ウ) 会議室及び備品の貸出等管理・保守業務

■ 会議室の貸出等管理・保守業務

各会議室利用団体数（1時間以内の利用を含む）

会議室（大）：100団体 ▲149（前年度：249団体）

会議室（中）：1団体 ▲264（前年度：265団体）

印刷室：70団体 ▲251（前年度：321団体）

相談室：9団体 ▲98（前年度：107団体）

曜日別の利用状況

会議室（大）：木曜日＞水曜日＞金曜日＞土曜日＞日曜日
会議室（中）：木曜日
印刷室：水曜日＞土曜日＞木曜日＞日曜日＞金曜日
相談室：水曜日＝土曜日＞金曜日＞木曜日（日曜日：0件）

■ 備品の貸出等の管理・保守業務

各備品等利用団体数

印刷機：68団体 ▲225（前年度：293団体）
紙折り機：6団体 ▲30（前年度：36団体）
その他：35団体 ▲77（前年度：112団体）
※その他＝裁断機、ラミネーター、コピー機、パソコン

曜日別の利用状況

印刷機：水曜日＞土曜日＞木曜日＞日曜日＞金曜日
紙折り機：金曜日＞水曜日＝木曜日＝日曜日（土曜日：0件）
その他：水曜日＞土曜日＞日曜日＞木曜日＞金曜日

(エ) 印刷機・コピー機使用料の徴収・提出業務

使用料徴収額 印刷機：¥22,395-【10月～3月】（前年度：¥124,670）
コピー機：¥250-【12月】（前年度：¥2,820）

(オ) 各団体の掲示物・郵便の受付・掲示業務

郵便物・登録団体のちらし・ポスター等持込み件数 486 ▲234（前年：720件）

(カ) 「つどい」の備品管理業務

なし

(キ) その他、「つどい」管理運営に付随する業務

■ 来館者数

年間来館者数 1,562人 ▲4,947（前年度：6,509人）
月平均来館者数 臨時休館期間を除く場合：260.3人 ▲382.1（前年度：542.4人）
臨時休館期間を含む場合：130.2人 ▲412.2（前年度：542.4人）
曜日別の利用状況：水曜日＞金曜日＞木曜日＞土曜日＞日曜日

2.3. 組織体制

中間支援センターとしての業務企画・実施評価及び「つどい」管理・運営に支障のない組織体制を整えた。勤務体制は、シフトを組み2名体制で常駐。

■ 業務責任者

新福泰雅（下記の業務担当者も兼ねる）

■ 業務担当者

管理担当：小林永遠・垣本裕一郎（3月末まで）・大西正寛（8月末まで）
事業担当：小林永遠・垣本裕一郎（3月末まで）・西田裕

連携担当：小林永遠・西田裕

※ 理事長 西田裕は、全体の監督も兼ねる

■ ボランティア

管理担当：山野上洸平（9月～3月）・山下琴音（3月～）・寄川奈緒美（3月～）

事業担当：コロナ禍により専任のボランティアには卒業扱いをお願いした（岡田有加）。

2.4. 業務の目標、項目及び達成状況（マネジメントサイクル）

本年度の目標、項目及び達成状況を下記の通りにまとめる。

目標 1	公益的な活動を行う多様な主体と「つどい」が“互いに顔が見える関係”になっている。	
項目	コミュニティ推進スタッフ・地域活動団体とのつながりづくり及び情報収集	コミュニティ推進スタッフとのつながりづくり
Plan	新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度は地域拠点施設の再訪問が出来なかった。	
	コロナ禍の中、地域活動の現状等の情報収集を、地域拠点施設訪問により実施する。 「つどい」で地域分権推進のコーディネート事例（山本小学校区みんなで協働づくり宣言）や、これまで情報収集してきた地域分権のあり方に関する情報提供も、ニーズがあれば提供したい。	
Do	8月下旬から9月にかけて、地域拠点施設の訪問を行った。 地域活動をされている方とお会いすることが出来た。 志紀小学校区まちづくり協議会の役員と地域分権におけるまち協の役割等やラウンドテーブルの提案を行った。	コミュニティ推進スタッフ会議で地域拠点施設訪問・地域活動団体との情報収集したことなどを情報共有した。
	久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区福祉委員会の両役員とお会いする機会を設け、【久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびとーまれ！」】について、つどいの支援・アドバイスも再確認してヒアリングを行った。	コミュニティ推進スタッフ会議で、コミュニティ推進スタッフと意見交換を行った。
Check	小学校区・中学校区別で、地域分権について3分類（下記）で特徴を把握することができた。 ① まち協の良さが活かされていない。 ② まち協の良さを活かされている面と活かされていない面がある。 ③ まち協の良さが活かしている。認識している。	コミュニティ推進スタッフ会議で、いくつか質問を受け、意見収集と意見交換が出来た。
	小学校区・中学校区で、人口減少に向けた取り組みとして担い手が居ない中での模索を行っていることを把握することができた。	
	「つどい」と「まち協」や地域活動団体とのつながりについての印象・認識の違いがあったので、情報共有することが出来た。 地区自治振興委員が行う地域活動の情報収集が出来たが、八尾市自治振興委員会では把握できていないことがわかり、提供出来た。	コミュニティ推進スタッフからは、あまり質問がなかった（つどいが何をしているかなど質問があった）。
Action	今年度は、コロナ禍の中、新しく動き出そうとする校区まちづくり協議会は見受けられなかった。	コミュニティ推進スタッフ会議では、情報提供は行わず、聴き役として情報収集を行う。
	今後は、新しい取り組み例として、「行事開催型（イベント）から事業実践型（課題解決型）」や「交付金事業以外の資金調達づくりの挑戦（民間助成金等の獲得・対象者からの実費徴収・協力者からの寄附の調達）」や「まち協の地名度アップの広報（認知と普及）及び地域活動未経験者の参画づくり（人材発掘）」について、つどいから考え方や活動団体の紹介など、ラウンドテーブル形式（井戸端会議形式）で情報提供を行いたい。	
達成状況	コミュニティ推進スタッフ会議に参加し、コミュニティ推進スタッフと意見交換が出来た。コミュニティ推進スタッフと「つどい」のめざす方向は同じだが、意識や考えのギャップを感じる事が出来た。	

目標 1	公益的な活動を行う多様な主体と「つどい」が“互いに顔が見える関係”になっている。	
項目	全登録団体へ登録状況の確認を実施	
Plan	「つどい」の開設から16年が経過し、登録情報と現状が異なる。 8年振りに全登録団体(346団体)を対象に「登録団体の再確認の実施計画(案)」を作成。	
	登録情報の更新	メール送信時に60団体が不通であり、メールアドレスの更新収集。 活動分野の定義の周知(設立目的に該当する分野とする)。
	Web「つどい登録団体紹介」ページの充実	活動がわかる画像収集を計画(画像更新含む)。 活動分野検索で団体を探しやすくするため、5分野程度に活動分野を絞る。
	団体の解散・活動休止・登録要件が満たない団体の洗い出しと廃止の受付	「開館及び各種業務の再開について【お知らせ】」を全登録団体へ郵送を行った結果、活動休止・団体の解散により廃止した団体が10団体あった。 コロナ禍等の理由により活動休止・団体解散の廃止申請を想定。 実状に沿って廃止受付を実施する。最少50団体近くの廃止申請を想定。
	情報収集項目の追加：SNSの利活用が普及し、各SNSツールの所在・有無の把握を計画。	
	現在の登録内容をデータベースから印刷し同封した(開示不可の情報は手書きにて追記を実施)。 提出する「登録団体確認書」及び「ご記入・提出にあたっての留意事項」を作成・同封した。	
Do	チェックリスト(Excel)の作成及び管理	「登録団体確認書」の提出状況を管理する。 登録更新時に確認いただく項目をマトリックス表としてチェックリストに加えた。提出時に更新内容の漏れがないかチェック出来るようにした。
	「個別連絡事項(登録団体確認書提出にあたっての追加確認)」(Word)を作成。 各登録団体へ登録更新時の確認内容を個別に通知し同封した(Excelのマトリックス表データを基に、Wordの個別連絡事項に差込印刷を行った)。	
	11月22日(日)に全登録団体へ「登録団体確認書」等を郵送。	
	12月25日(金)の提出期限の前に「登録団体確認書」の提出状況や催促の連絡を12月に実施。	
	登録団体情報データベースの更新を実施(廃止申請団体も含む)。	
	つどいWeb内「登録団体紹介」の基本情報(名称・設立目的・活動内容・活動分野・問合せ先)及び画像の更新を実施。	
	メールソフトの登録団体分のメールアドレス帳の更新を実施(廃止申請団体も含む)。	
	各登録団体で紙媒体「登録団体確認書」及び「登録申請書(写)」等を、新調したフィルムに移替え実施(廃止申請も含む)。 登録更新時に確認いただく項目をマトリックス表として作成した「チェックリスト」の更新を実施。	
	全登録団体(346団体)から「登録団体確認書」の提出を完了した(廃止申請87団体含む)。	
	11月提出受付：59団体(廃止申請12団体含む)。 12月提出受付：168団体(廃止申請39団体含む)。 1月提出受付：119団体(廃止申請36団体含む)。	
Check	「担当者欄の情報開示」「連絡先の有無」が漏れていた情報を登録状況の確認で更新することが出来た。 代表者の連絡先で「FAX無」で登録した団体が67団体、「メールアドレス無」で登録した団体が80団体。 つどいWeb内「登録団体紹介」の更新を行ったことで、各登録団体の情報発信支援につながった。 画像掲載は、100団体強であったが、182団体まで更新することが出来た。	
	設立目的に沿った活動分野を5項目以下に集約することが出来た。 全登録団体の「主たる活動分野」の更新が出来た(該当がなかった登録団体の更新が完了)。	
	メールにて送信できなかった60団体も更新が出来た。 メールアドレスを更新した団体とは連絡が取れる状態になった。	
	「チェックリスト」の更新が出来たことで、登録状況の漏れが確認できるようになった。	
	個別でチェックリストを作成していた「Web画像提出状況」「メール送信状況」を「チェックリスト」に集約することが出来た。	
	60団体から担当者の氏名・連絡先の情報の開示を得られた。	
	郵送から電子メールへの切替の有無を尋ねておくべきだった。次回更新時にお尋ねする。	
Action	右記の申請書やデータベースの改善として、「担当者情報」「SNS情報」等の掲載や記入ができるように行う。	データベース：団体紹介時に提供する「登録情報」様式の改善。 登録団体申請書：様式の更新
	「チェックリスト」の情報をデータベースに入力することで、効率良く更新したい。	
達成状況	8年振りに全登録団体(346団体)を対象に「登録状況の確認」の実施に踏み切ることが出来た。 登録団体情報を「データベース」「つどいWeb内【登録団体紹介】」「つどいメールアドレス帳」を全て更新することが出来た(最新情報を入力し反映)。 新たに担当者の情報開示やSNS情報も取得でき、情報提供の内容と体制の改善が出来た。 SNSアカウントを活用して、登録団体への情報提供や関係性の構築にも活用したい。	

目標 4	“マネジメントサイクル”が機能し、「つどい」の活動内容が年々高まっている。
項目	【八尾市子どもサイト「あつまれ八尾っ子!!」イベントカレンダー】の掲載内容の効率化
Plan	11月開催分から登録団体に追加で回答していただく項目として、「イベントカテゴリー」が追加された。項目の追加に伴い、登録団体の負担と効率化を考えて掲載内容の提供方法を Excel ファイルから Google フォームへと変更した。
	Google フォームを活用することで、登録団体にとって①メールを送信せずに済む②回答は選択式のため入力する手間を省ける③スマホでも回答を行うことが出来るなどのメリットがある。 一方、つどいにとっても Google フォームの活用で①提供された掲載内容の管理の簡易化②掲載内容をまとめる際の効率化が期待出来る。
Do	12月開催分から Google フォームの URL リンクを添付したメールを登録団体に送付。
Check	これまでは登録団体から掲載内容のメールでの提出がないかを、逐一確認する必要があった。しかし、Google フォームの活用により登録団体からの回答が一括で管理されるため、メールで確認する必要がなくなり業務の効率化につながった。
	12月開催分では、3団体の応募があった内の2団体は、特に間違いや修正事項もなく Google フォームを回答していただく事が出来た。残りの1団体はイベント画像のデータは提出していただけたが、Google フォームには回答してもらえていなかった。
Action	イベントの画像を添付する場合は、現段階では登録団体に Google フォームへの回答以外に、メールで画像を添付してもらわなければならないという問題点がある。この問題点を解決出来ないか検討を行う。それまではもし画像の添付のみをしていただけた場合、登録団体にメールで再度 Google フォームの回答をお願いします。
	まだ12月開催分以降実施を継続。今後も改善出来る点がないか検討を行う必要がある。
達成状況	今回、Google フォームの活用により掲載内容の管理を簡易化することが出来た（新しく項目に追加された「イベントカテゴリー」も選択式で入力が可能となり、団体とのやりとりが不要）。また Google フォームの統計機能によって、登録団体がこういったイベントカテゴリーで開催されているのか、傾向や分析が出来る可能性がある。

目標 4	“マネジメントサイクル”が機能し、「つどい」の活動内容が年々高まっている。
項目	「つどいデータベース」更新についての PDCA サイクルの実施（定量化の追加及び定性化の細分化）
Plan	6月の「つどいデータベース」の定期更新の際に、「相談記録シート」の内容を見直すことで、相談対応や聞き取り内容等の質の向上を検討。検討し、追加する項目を決定（下記）。
	つどいに相談するに至った経緯、足取りのチェック欄（紹介：知り合い・行政・団体、ブログ、Web、SNS、その他）
	入力情報の追加（内容・聞き取り・対応・マッチング・相談分類）
Do	対応状況のチェック欄の変更（相談対応済・追加対応中）と追加（マッチング結果）。数量化を図る。
Check	上記記載（Planの2段目から4段目）の入力情報の細分化を行った。
	入力情報の細分化（内容・聞き取り・対応・マッチング・相談分類）により、定性情報の整理が出来、相談対応の経過や状況を効率化に把握すること出来た。
Action	相談案件に応じて入力していた足取り（定性情報）を、数量化することが出来た。
	細分化した情報（マッチング数と内容、相談までの経緯と足取りのカウント）の収集と分析を行い、ニーズの把握を実施する必要がある。
達成状況	過去の相談シートも現在の更新したフォーマットに入力する。数値化を行う。
	スタッフミーティング等で傾向と対策について検討を行う。
達成状況	「相談記録シート」の記入内容を見直す相談対応業務の業務改善（質の向上）は、「手書きシート」と「データベース」の両方に項目を細分化したことで、対応者とシート作成者の内容確認作業の効率が向上出来た。 また、今後の対策（数値化とニーズの検討）が見えたことも、これからの相談対応業務での質の向上につながると予想される。

目標 4	“マネジメントサイクル”が機能し、「つどい」の活動内容が年々高まっている。
項目	協働状況のプロセスの3指標【「マッチング」→「連携実施」→「地域活性化や活動資源の促進」】の内、データベースで「連携実施」と「地域活性化や活動資源の促進」の定量化及びプロセスの定性データの追加。
Plan	9月に委託元との協議により、新指標「連携実施」の件数を、第6次八尾市総合計画施策 No. 30の指標になった。来年度からの指標化に向けて、データベースの「相談記録シート」に定量化を盛り込む。
	新指標として提案した「地域活性化や活動資源の促進」の件数は、委託業務団体の独自指標として、協働状況のプロセスの3指標のひとつとして活用し、同様にデータベースの「相談記録シート」に定量化を盛り込む。
	「地域活性化や活動資源の促進」の件数カウントの根拠としてまとめた表（現状・課題・基本方針・めざす暮らしの姿）は、「地域活性化や活動資源の促進」までの協働状況のプロセス管理（定性データ）として、データベースに活用する。 定性データ： ①相談者及び紹介者の課題（PLAN）、②つどいが支援できる内容（Do：情報・考え方）、③連携の効果や価値を「つどい」が、どのように広めるか（Do・CHECK）、④つどいのコーディネート支援による効果（CHECK・ACTION：価値の創造や増価、地域課題の解決・改善）、⑤連携が出来た及び出来なかった理由、⑥地域活性化や活動資源の促進になった内容（結論）
Do	12月26日（土）から、上記記載（Plan）のデータベースの入力情報の構築作業を始めた。
Check	来年度からの入力できる準備が整った。
Action	来年度から「第6次八尾市総合計画」の8年間の計画期間に入り、施策 No. 30「地域のまちづくり支援・市民活動の促進」について、複数年に及ぶ協働プロセス管理を行う準備に着手することが出来る。年度末には整備が整うため、来年度からは試験的にデータベースで蓄積し、協働状況のプロセスの3指標による定量的データとプロセス管理による定性的データで、状況や傾向など今後の「つどい」の運営・経営判断が出来るように一段階マネジメントサイクルが向上した。
達成状況	3指標による定量データとプロセス管理による定性情報の記録をデータベースで管理する仕組みが出来た。

目標 5	公益的な活動を行う多様な主体とともに、「つどい」が必要な取り組みや施策を提案・実行し、“地域分権による身近な地域のまちづくり”が加速している。
項目	中間支援・NPOに関する知見及び情報収集の蓄積【中間支援・NPOに関するスタッフ学習会】
Plan	「つどい」は、地域分権の推進における中間支援センターとして、地域分権の現状と課題を独自に情報収集及び情報提供を行いながら、地域分権のあり方や各地域複合組織の役割分担など提案を行って来た。かつ、活動主体の連携・協力促進としてコーディネートを行い、地域分権の推進における活性化に取り組むことが出来た。
	引き続き、地域分権の推進に取り組めるように「つどいスタッフ」の中間支援等の経験とスキルアップや研鑽が求められる。
	「つどいスタッフ」には組織基盤の強化機能・マネジメントサイクル機能・社会貢献活動の担い手を公益的な活動につなげる機能も、同様に求められる。
	「つどいスタッフ」に地域分権・NPO・PDCAサイクルに関する素養を身に付ける。各市民活動を経験している「つどいスタッフ」の活動の振返りと改善にも寄与する。
	「つどいスタッフ」が中間支援・地域分権・NPO・PDCAサイクル等を学習することで、考え方・あり方を共有し、「つどい」関係者全員の共通認識を構築する。
Do	5月より「中間支援・NPOに関するスタッフ学習会」を開催した。
	週1回を目途に、9回開催した（5月：1回・6月：4回・7月：4回）。
	他都市の取り組み事例を日本NPOセンター等が発行する冊子を基に輪読し学習。
Check	輪読した内容をスタッフが発表することで、気付いたことも発表してもらい、日常の中間支援業務の振返りや各市民活動を経験している「つどいスタッフ」の活動の振返りが出来た。
	開催時に振返り資料として、前回までの開催記録を説明し、振返ることが出来た。
	事例発表の中で、ボランティアが市民活動団体に参加する動機や、市民活動団体がボランティアに参加できる仕組みづくりについて、情報収集を行うことが出来た。
	参加プログラムの提供でボランティア等の協力者（第二の顧客）が参画することで、市民活動団体の取り組みがさらに強力になり、公益性が生まれることを学習できた。参画が市民活動団体の目指す社会問題等の解決方法であることを、スタッフ全員が共通して認識することができた。
	相談業務において、新しく市民活動をはじめたい方、中間支援をテーマに卒業研究に取り組みたい方へ「中間支援・NPOに関するスタッフ学習会」を開催していることを情報提供した。相談者も参加し共に学べる場として紹介し、ゲストで参加をしてもらった。
Action	今後は、NPOへの支援・地域分権の推進における中間支援の役割をさらに事例収集を行いながら、次のつどいが取り組む内容を検討していきたい。
	相談者等をゲスト参加してもらい、学習会を拡大して発表してもらいたい。
達成状況	9回の開催を通じて、「つどいスタッフ」で、以下の次の共通認識を得ることが出来た。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間支援業務のひとつの成果として、支援する団体が行う行事・事業に参画するボランティア等の協力者（第二の顧客）をいかに創造していくかが、支援する団体の発展や社会問題や地域課題を解決する（公益性）ひとつの方法であること、そしてその方法がNPO法人等市民活動団体特有の解決方法であることを認識した。 ・ 上記の考え方を、校区まちづくり協議会といった地域活動団体や社会貢献を行う団体に広げて行くことが公益性を生み出す大きな要素であると認識した。 ・ 「つどいスタッフ」が各市民活動団体に携わっているが、市民活動としての意識が薄かった面があった。学習会でNPO法人とは何かを学び、市民活動とは何かについて認識した。 ・ これまでのつどい業務や「つどいスタッフ」が携わっている各市民活動団体について、振返る機会となった（これまでは市民活動団体及びつどい業務の運営や行事開催が中心であり、振返る機会があまりなかった）。団体運営・業務運営の目的・意義の振返りや事例収集等での市民活動・中間支援に関する知識を養えた。

2・5. 課題と改善点

次年度以降の課題と改善点を下記の通りにまとめる。

目標 1	公益的な活動を行う多様な主体と「つどい」が“互いに顔が見える関係”になっている。
課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ推進スタッフと意見交換を実施することが出来た。出張所等の訪問による情報収集も行うことが出来た。来年度は、出張所等の訪問のみならず校区まちづくり協議会の役員との交流を図りたい。 ・ コロナ禍の中、校区まちづくり協議会・市民活動団体等が、どのようなニーズがあるか収集を行いたい。 ・ 「つどい登録団体」の登録状況の確認により、連絡先の更新が出来たことで連絡等のやり取りがスムーズになり、互いの顔が見える関係を構築することが出来た。また活動の様子がわかる画像提供も進み「つどいホームページ」の「つどい登録団体紹介」の掲載情報が、より充実することが出来た。 ・ さらなる情報提供が促進できるようにしていきたい。

目標 2	公益的な活動を行う多様な主体にとって、「つどい」が“頼りがいのある相談相手”となっている。
課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●相談対応後のアフターフォロー【社会貢献活動の参画と活動への定着化】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は、相談件数は減少（172件→135件）したが、新規相談件数（86件）の割合は63.7%と高かった。相談を通じて、新しく社会貢献活動を始めたい相談者が、「つどい」に来館等を行う機会につながっている。 ・ 上記の新規の相談者が、社会貢献活動に参画する機会を「つどい」が提供し、新規の相談者が社会貢献活動に参画出来るように、引き続き、「つどい」が追っかけ等のアフターフォローを実施していく。 ●新規の相談者が相談に至った経過【新規の方が来られる傾向】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から、新規の相談者が相談に至った要因を数量化で把握することが出来た。 ・ 結果は、「Web（つどいホームページ）閲覧による相談」が26件と最も高く、「不明」22件、「団体からの紹介」13件、「知り合いからの紹介」10件、「その他」8件、「行政からの紹介」4件、「つどいのSNS閲覧による相談」3件だった。 ・ 上記の結果を分類すると「インターネット閲覧」が29件、「紹介」が27件、「不明」22件、「その他」8件になった。 ・ これは、つどいホームページの「つどい登録団体紹介」等を閲覧し電話等での団体紹介相談や、紹介による「つどい」来館時の団体紹介相談が多いからである。コロナ禍の不要不急に加え、「つどい登録団体紹介」の情報が画像掲載等で充実したことも伺える。 ・ 今後も、コロナ禍が継続される中で、よくある相談内容については、ホームページ等で相談の様子等を動画で閲覧できることや「よくある相談内容 Q&A」の掲載など、さらなる充実を図りたい。 ●屋外配架部数と新規相談件数の関連性【新規の方を呼び込み方法：屋外配架の有効性を検証】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に改善した「屋外配架コーナー」での配架部数を月別で集計を行った。市民活動をされていない方を配架コーナーで呼び込む方法が有効であるか、加えて新規相談件数の増加につながっているか検証を行った。 ・ 配架部数が200部を超えた月が3ヵ月続き（5月～7月）、2ヵ月後に新規相談件数が10件を超えた月が3ヵ月続いた（9月～11月）。また10月と11月の配架部数が再度200部を超えた2ヵ月後の1月・2月の新規相談件数は10件を超えることはなかった（1月に緊急事態宣言の発出が影響している）。 ・ 検証から、「屋外配架部数」の増加と「新規相談件数」の増加には、相関性があるか確証が得られなかったが、何らかの影響で相談が増えていると推測はしている。 ・ 他の要因もあるか、今後も調べていく。

目標 3	<p>公益的な活動を行う多様な主体にとって、「つどい」が組織基盤の強化を図るための支援場所となっている。</p>
課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●「つどい登録団体」の登録状況の確認からターゲット絞りとアフターフォロー <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年度以降に登録した団体が、今回の登録状況の確認により初めて廃止申請があった。団体を立ち上げ時に登録しているため、立上げ5年後に活動休止・解散する現象が現れていることが伺える。2015年度以降に登録した51団体をひとつ目のターゲットとして、今後、アフターフォローを行いたい。 ・ 2009年度～2014年度に登録した団体も、登録廃止申請が多くあったことから、ふたつ目のターゲットとして70団体を対象に、今後、アフターフォローを行いたい。 ●個別でのアフターフォローを通じた組織基盤強化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つどい」では、スタッフ対象の学習会により他市町村の中間支援団体や市民活動団体の活動事例の収集及びNPOに関する基礎学習を行って来た。 ・ 今後は、つどい登録団体への組織基盤強化につながるアフターフォローを行って行きたい。 ・ 加えて「つどい」では、試験的にリモート体験としてZoomを活用した井戸端会議の開催を行った。 ・ リモートが慣れない団体が多いことから、やり方等を支援してもらえれば、自らリモートにチャレンジしたい団体を対象に、今後、個別でアフターフォローを行って行きたい。 ・ アフターフォローは各団体の事情に合わせて、個別で対応することを念頭に置いて取り組みたい。 ・ 上記のアフターフォローは、「つどい登録団体」を問わず校区まちづくり協議会等の支援にもつなげる。

目標 4	<p>“マネジメントサイクル”が機能し、「つどい」の活動内容が年々高まっている。</p>
課題と改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●相談業務のデータベース更新による追っかけ等のアフターフォローなどの記録化・PDCAサイクルの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談業務のデータベース更新を通じて、PDCAサイクルを回すことが出来た。 ・ PDCAサイクルを回すことで、既存の相談業務では出来なかった相談後の追っかけ・アフターフォローを行うことが出来るようになり、マッチングの経過を確認する体制が出来た（毎月、翌月初旬には、相談後のマッチング確認を行うことを実施・改善が出来た）。 ・ 委託元との指標の検討により、第6次総合計画の施策No.30に基づいた指標化の協議を通じて、協働状況のプロセス指標（マッチング・連携実施・地域活性化や活動資源の促進）の定量化（データ）を行う。 ・ 複数年に及ぶ協働状況のプロセス管理として、プロセス指標の経過等をまとめた定性情報の記録も行う。 ・ 上記を試験的に実施ながら、PDCAサイクルで協働状況のプロセスの把握や支援の際に課題があれば改善を図る。 ・ 目標3でも記載した通り、個別でアフターフォローを行うため、協働状況のプロセスも個別の相談件数で丁寧にアフターフォローを行う中で、現在の体制でどこまでアフターフォローが実施できるかが、今後の課題である。データベースがどこまで負担軽減に有効であるかも検証を行いたい。 ●協働プロセスにおける効果検証について <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域活性化や活動資源の促進」に至るまでのプロセス指標が出来上がったが、「地域活性化や活動資源の促進」を検証する指標を数値化で示すことが課題である。特に、不特定多数に理解され評価を得られやすい指標化が求められると考える。そのための数値化すべき指標の検討が必要となる。 ・ 現在、考えられる指標として「ゲスト数（新規を呼び込んだ度合い）」→「マッチング数（対象者から協力者になった人数等）」→「貢献要素（活動への定着を示すものとして、運営協力した時間・金額・場所等の提供）」の3つの数字を見比べながら運営判断が出来ないか、今後、検討して行きたい。

目標 5	<p>公益的な活動を行う多様な主体とともに、「つどい」が必要な取り組みや施策を提案・実行し、“地域分権による身近な地域のまちづくり”が加速している。</p>
課題と改善点	<p>●コロナ禍でも、コロナ禍明けでも出来る社会貢献活動のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により、社会貢献活動が自粛により行事等が中止になった。また従来の「行事開催型」の取り組みでは多くの方が集い三密により感染拡大のリスクが大きくなるため、イベント開催が難しくなった。以前より、地域分権の推進における地域課題の改善や解決へ向けた「事業実践型（課題解決型）」を実施すること等、コロナ禍の時代でも各活動主体の社会貢献活動の必要性や意義を考え見出す必要がある。 ・ そのために、存在意義を検討し共通認識を深める「対話の場」の創出や、事業実践型（課題解決型）の実施へ向けた検討を話し合う場を設けるための準備をしていきたい。 ・ 「事業実践型（課題解決型）」のテーマを提示することが必要と考え、提示することが課題である。現在は、「地域猫の社会づくり」「地域資源を活用した防災」「新しいイベント形式 婚活」を考えている。

目標 6	<p>他の中間支援組織等と連携を図りながら、社会貢献活動の担い手を公益的な活動につなげていく体制が整っている。</p>
課題と改善点	<p>●事業実践型（課題解決型）の活発な取り組みに向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 5 にも記載した「地域猫の社会づくり」において、相談業務から「地域猫のポータルサイト」づくりの対応を行うことになった。ポータルサイトづくりにおいて、様々な地域猫に関して取り組む個人・団体について、相談者の住む近隣小学校区で集まっていただき「つどい地域猫井戸端会議」の開催を行った。 ・ 相談者の事業実践型の考えを具現化する支援を通じて、相談者もポータルサイトづくりにおいて、新しい担い手として、つなげることが出来た。 ・ 今後は、そのような人材の発掘や支援する体制を創ることが課題である。 <p>●他の中間支援組織等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記のような、事業実践型（課題解決型）の動きが出れば、情報提供を通じて、情報共有からご意見や支援及び連携方法をいただき、さらなる支援体制づくりにつなげたい。

令和 2 年度

八尾市市民活動支援業務及び
機器使用料徴収事務に係る業務報告書

< 資料編 >

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク

3.資料編【図・表・調査】

(1)中間支援業務

①情報収集・情報発信業務

【ア】活動主体による公益的活動等に関する情報の収集

○ 各種活動団体の情報の収集

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
1	4月放送	FM ちゃお 「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	曙川小学校 山野 元気先生に出演依頼を行う予定であった。 【収録延期】
2	4月21日	FM ちゃお 「エコラブオントーク」に収録参加／FM ちゃお	(株)SORACIA の新井 千春氏 ・ 昨年度の3月にパーソナリティの温川氏からの相談で出演者の紹介を行い、対応者も出演することになった。 【収録延期】
3	7月14日	FM ちゃお 「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	株式会社関西クラウン工業社 温川政佳氏 ・ 「クラウン」は王冠の意味で創業時は王冠やキャップを造る会社だったが需要が落ち込み、ボルト・ナットを締めるソケットレンチなど冷間加工での工具類を提供してきた。海外の工場から安価な工具類が出てきたことで製造を変更し、ブラウン管・液晶モニターを吊り下げる吊り下げハンガーを提供して来た。精密機械の部品製造を行う。「どんな相談も、どんな引き合いも必ず回答」をモットーに対応し近年は特注・別注の製造依頼が主の仕事になっており生き残りをかけている。 ・ 3S活動(整理・整頓・清掃のローマ字の頭文字Sから)は平成11年(1999年)に枚岡合金工具株式会社(古芝氏)・株式会社山田製作所(山田氏)等と共に「大阪リエンジニアリング研究会」を立ち上げ3S活動に取り組む。 ・ ムリ・ムダ・ムラを見つけ不要を整理し、すぐに探し出せるように整頓を行い、箒で掃く「掃き清掃」からピカピカに拭く「拭き掃除」まで行いながら改善を図って来た。 ・ この3S活動が品質管理のISO9001の外部認証取得や環境マネジメントシステム「KES」の外部認証取得につながり、環境活動へもつながる。 ・ 「KES」の外部認証取得を契機に認証を降ろす協働機関として「O-KES」を、特定非営利活動法人グラウンドワーク八尾が「大阪KES環境機構」として大阪府下へのKES外部認証取得の普及と認証審査を行っている。 ・ コロナ禍でマテック八尾主催の「ロボットコンテスト」はアリオ八尾から八尾商工会議所に会場を変更し無観客で開催。また奈良高専と八尾市が業務提供をしていることから、小中学校へものづくりについて教えに行くこともある。 ・ リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」ではメグリンのロボットを納品し、いちからロボット製造に初めてチャレンジしモーターなど他分野である電気・電子への抵抗がなくなった。 ・ その他にも人間関係の構築及び修復について、八尾市倫理法人会での講話エピソードやゴルフでの遅刻エピソードなどを通じてお話をされながら、失敗をして責任を負い成長していくこと、死ぬまでチャレンジであることをお話しされた。

No.	日付	開催名称／ 開催場所	収集内容
4	7月21日	FM ちゃお 「エコラブ オントー ク」へ出演 者のご紹介 及び収録参 加／FM ち ゃお	<p>株式会社 SORASIA 新井千春氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新井氏は八尾市出身。18才で起業や経営に興味があり、大阪市内の会社に就職しシェアハウス事業やシェアハウス DIY 等に携わり、また京町屋の空き家のリノベーションにも携わった。25才で不動産業を立ち上げる。 ● 八尾市内での空き家活用の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾には4年程前に戻ってきた。恩智にある古民家「茶吉庵」のリノベーションを行った。日頃はリノベーションのうえ、持ち家の価値を見いだせない持ち主と、古民家の価値を理解している若者などをマッチングさせて空き家を提供している。 ・ 八尾に戻って感じることは高安山があり自然が近い立地に価値や貴重性があること。京都は京町屋のブランドがあり空き家を活用した需要があるが、八尾の場合は空き家を使いたい方の声が小さい印象がある。それでも八尾では農業をしながら飲食店もしている30代もいる。 ・ 他の空き家活用として、久宝寺の長屋で築100年程になるが「食堂リプル」としてリノベーションを行った。リプルは「さざ波」という意味。少しずつ浸透・普及・定着してほしい思いからついた名称。地域によっては生活がメインで観光で古民家を撮影されるのが好まない方もいる。 ● 地域活性化の取り組み・将来の展望 <ul style="list-style-type: none"> ・ ファミリーロード商店街で開催した「こども商店街」「OTAIYA MARKET」での地域活性化の取り組みを紹介。 ・ 「八尾ラボ」をインターネットサイトで立ち上げて、飲食店のオーナーの応援やお店のファンを作る目的で立ち上げた。 ・ 生活しながら楽しいまちを創りたい思いが新井氏にはあり、八尾に帰って生活している人が資源を活用したまちづくりをしたい。そしてチャレンジしやすく地域資源を活用して良い空気感を出したい。そのようなイメージが湧くことも含めて高安山の麓にある空き家の模型も作成している。 ・ 将来は目的なくふらっと行ける場所づくりとして、図書館を作りたい思いがある。 ・ また自分達世代は上の世代と下の世代をつなげる役だと思っていて、子ども達につなげて行きたいと思っている。

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
5	8月21日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>リーラボ-Re Lab-代表者 谷拓也氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木を使ったものづくりを通じて、子ども達などに木を知ってもらい「木育」を行っている。 ・ 木育とは北海道で生まれた言葉。同時期に「食育」が生まれていることから同じようなネーミングになっている。 <p>● 職歴・活動歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前の職業として「特定非営利活動法人木育フォーラム」の常任理事をされていた。南港にある ATC にて木育のイベントを開催した際に、当番組の事務局で収録に参加している新葉氏と知り合う。兵庫県加古川市や吹田市でも活動をして来た。 ・ SORACIA の新井千春氏と出会い、2 回目にお会いした際に 2 人で食事をした。「独立をしないの？」と聞かれた際に自分自身が独立を考えていることを見抜かれたと感じた。4 回目の食事をした際に独立するので事務所を探してほしいと新井氏にお願いして独立を果たす。そこから新井千春氏と共に活動をするようになる(新井氏の会社の社員も兼ねている)。 ・ 新井氏のつながりで 2018 年 6 月にアリオ八尾で行われた「えんとつ町のプペル」光る絵本展 in アリオ八尾で会場設営の設計・部材提供と組立・施工を行ったのが、八尾で活動を始めた頃に携わった初めての市民活動への参画だった。 <p>● 旧高安中学校の活用と地域活性化への携わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧高安中学校での工房活動や校舎の清掃・リノベーションにも携わり、看板などものづくりで協力している。元々は「みんなの学校」の構想・企画をしていた実行委員長の三輪さんが地域食堂「おむすびころりん」を運営する小鹿千秋さんに相談され、そのフィールドに合っている場所として旧高安中学校を紹介し本格的に開催準備が始まり、谷氏は小鹿氏からの声かけで携わる事になった。 <p>● 木育活動の思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 谷さんはみんなと一緒に作ることを大切に考えており、人を巻き込んだ参加の仕方を常に意識している。 ・ 木を使って作ることで子ども達に職人の世界を知ってもらいたいこと、子ども達に「なりたい職業ランキング」で常にものづくりの職業がランクインしてもらえることを目標にしている(公務員・ユーチューバーが近年は人気の職業になっている)。 ・ ものをつくることからものづくりとは何か、木を知ってもらうこと、物を大切にすることを広めて行きたい。 ・ 「木材コーディネーター」として建築主(施主)と山林の現地で住宅の柱や梁など、必要な部材になる木を選ぶこともしている。里山保全・寺社建築も含む国土の 66%が森林である日本は、森林と岩清水の文明・文化として発展し今日の日本があることも広く知ってほしい考えを持っておられた。 <p>● 地産地消・地域循環共生圏での協力(高安山もヒノキ材の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高安山のヒノキ材を旧高安中学校を活用してビニールハウス内で自然乾燥を実験しており、含水率が 9%まで減少に成功した。 ・ これは自然乾燥でも 12~13%の含水率であることをさらに低下させていること、加えて機械での急速な乾燥では木材が施工後変形を行う問題も解決する方法として実験をしている。 ・ また薄いヒノキ材でも反らなかった実験結果も得られた。

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
6	8月21日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>にちじょうてき SDGs from YAO 西田遥氏・佐藤未翔氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西田氏は八尾市の「八尾市 OTS 会議」の「神エイト」のメンバーの1人でもある。 ・ 佐藤氏と共につどい登録団体「少年少女組織を育てる八尾センター」のメンバーでもあり、今回有志で「にちじょうてき SDGs from YAO」という勉強会を立ち上げた。 ・ 主には7月から SDGs とは何かを勉強しながら、生活では結びつきにくい SDGs を教育や人権・平和など各分野と関連づけて行きながら、生活に落とし込めるように気づいて広げたいという思いを持って学んでいる。 ・ 第1回目の勉強会は3人で行い2030年に持続可能な開発目標17の内、気になる目標から調べ発表した。フードマイレージやプラスチックの分別などが気になった。 ・ 第2回目の勉強会では「日本と気候変動」という映画鑑賞を行い、北海道・長野県での積雪量の減少でスキー場の運営が難しいこと、沖縄県のサンゴ礁の白化現象など、岡山県・東京都の事例も含め全国各地で気候変動が起きている事の証言や実感したお話を鑑賞しながら意見交換をされた。 ・ 西田氏が始めたきっかけは北海道へ旅行に行った際に、観光先のボランティアの学生が SDGs を熱心に話され、帰阪後も話された内容が気になって「SDGs に取り組むことに価値がある！」と思い始められた。土木を学んでいた学生は公務員として就職。札幌市や北九州市は SDGs の取り組みが先進的な自治体である。 ・ 佐藤氏は西田氏から SDGs の言葉や話が耳に残った。食事に関わる仕事をしていて、食卓にあがるまでの食材の流通や地産地消・流通時の二酸化炭素の排出量やエネルギー量など、SDGs を通じてその背景をとっても想像することや意識をするようになった。買い物時にはどこからこの食材が来たのか「CO₂ラベル」を見るように意識するようになった。またエシカル・グリーンコンシューマーを意識する様にもなった。 ・ SDGs は「誰一人取り残さない」「とりこぼしをしないように」が大きなコンセプトになっていることを学びながら、自分たちでどんなことが出来るかを話し合うことに意味を感じている。また興味を持ったことにそれぞれ違う観点から発表するので、気付かされることが多い。 ・ 今後は SDGs をインスタグラムで情報発信しながら、子ども達にも SDGs を伝えて行きたいと思っている。エコ実践を日常生活で続けて行くことは、忘れてしまっただけで継続が難しい時もある。継続する動機づけとしてもインスタグラムで呼びかけていくこと、また繰り返して情報発信をしようと思っている。考えなくても出来る、自然に出来る、習慣化になるようにして行きたい。
7	9月12日	第4回面会交流支援団体フォーラム／リモート (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面会交流とは離婚後も子どもが両親と交流できる機会を提供する取り組みで、活動支援は15年程になる。 ・ フォーラム第1部「子どもの立場から」に発表者で登壇。 ・ 親と交流が出来なかった事例、親と交流出来た事例、親が他界により再会出来なかった事例、面会交流の支援を受けた子どもの面会交流の支援を行う立場になった事例、計4パターンの発表があった(プライバシーのため情報収集には掲載しない)。 ・ 面会交流について収集し離婚後も親子の関係が途切れないように活動を支援する団体があること、子どもの立場の発信がないため子どもの発信を支援する活動もあること、面会交流も子どもの人格形成にもつながるなどを収集した。 ・ また、離婚問わず親が自覚して子どもとの関係性・絆を構築することの大切さを学ぶ。

No.	日付	開催名称／ 開催場所	収集内容
8	10月19日	FM ちゃお 「情報プラ ザやお」環境 活動のご紹 介に収録参 加／FM ちゃ お	<p>「特定非営利活動法人自然環境会議八尾」 事務局長 宮川 晃 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「菜の花プロジェクト」とは(貴法人の設立の経緯) <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の廃食油を回収し、せっけんや BD 燃料としてリサイクルする事業。 ・ 1998 年に滋賀県愛東町(現在の東近江市)で始まった。 ・ 2001 年に滋賀県新旭町で開催された「菜の花サミット」で「菜の花プロジェクトネットワーク(2005 年度に NPO 法人格を取得)」が設立され「菜の花プロジェクト」が全国に広がりを見せる。 出典：インターネット「特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク」 ・ 天ぷら油や菜の花栽培で絞った菜種油の BD(バイオディーゼル)燃料化における環境負荷軽減は以下の特徴がある。 ★ 二酸化炭素の削減。 ★ 軽油同様に含有有害物質が少なく、硫黄酸化物(Sox)がほとんどでない。 ★ 植物性の廃食油を使うので廃棄物のリサイクルになる。 ★ 地域循環型の構築に貢献 出典：インターネット「油藤商事株式会社」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾でも BD 燃料化や菜の花プロジェクトに精通されている先生や関係者からご教授いただき「生活環境科学研究所」を立ち上げた。事業化しやすい組織づくりとして NPO 法人化を行い、現在の貴法人を 2007 年度に NPO 法人として設立した。 ● 貴法人の活動内容 主には次の 3 点の活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 菜の花プロジェクト ・ 廃食油キャンドルづくり ・ 府民共同発電所プロジェクト ● 環境アニメイティッドやおでの活動や参画のきっかけは？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 当時「環境アニメイティッドやお」が協議会として設立した時に、事務局の環境保全課に相談に行き「菜の花プロジェクト」の実施に向かって話を聴いていただき「いきいき八尾環境フェスティバル」に「生活環境科学研究所」や貴法人として出展して参画したのがきっかけだと思う。 ● 現在の BD 燃料化の事業は？課題点 <ul style="list-style-type: none"> ・ アルカリ触媒法で「脂肪酸」と「グリセリン」で構成される菜種油や植物由来の廃食油に「メタノール」を投入することで、触媒(メタノール自身は変化せず脂肪酸やグリセリンの反応に影響を与える)され「脂肪酸」と「メタノール」が結合し、BD 燃料になる。 ・ 結合時にエステル化(脂肪酸とメタノールが結合する時に水が発生・分離されること)され、グリセリンが分離される。 ・ BD 燃料生成時の課題として次の課題がある。 ★ 廃食油の不純物や副産物のグリセリンが発生し廃棄処分費用がかかる。 ★ 軽油混合燃料として活用する際に課税対象になる。 ★ 揮発油等の品質の確保に関する法律(品確法)で、軽油に BD 燃料を混合する割合が 5%以下となり消費が進まない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は廃食油を直接燃料として活用する事業に転換し活動中。 ・

No.	日付	開催名称／ 開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 廃食油キャンドルづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃食油の直接燃料化に事業を転換するにあたり、出会ったのが廃食油を活用したキャンドルであった。 ・ 10年程前、環境アニメイテッドやお事務局兼「めぐる」のリサイクル体験教室担当だった職員からリサイクルセンター学習プラザ「めぐる」でのリサイクル体験教室のひとつとして「廃食油のキャンドルづくり」の依頼があった。 ・ 当時の事務局兼職員の紹介で大阪市内にある「特定非営利活動法人ごみゼロネット大阪」が先に廃食油を用いたアロマキャンドルづくりを行っていたことから、大阪府立市岡小学校での小学校4年生を対象にした「環境学習」で廃食油でのアロマキャンドルづくりにも参加・協力し、ノウハウを学びにも行った。 ・ 「フェスタ亀井」の地域行事出展や「めぐる」でのリサイクル教室でも、体験を通じてエコを意識できる取り組みとして活動の普及や「菜の花プロジェクト」の普及の一助となった。 ● 府民共同発電所プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ 用和小学校区にある「ふじ第二保育園」の屋上に「府民共同発電所」として大阪府の補助金100万円と協賛・出資金を220万円募って太陽光発電を設置した。 ・ 特に協賛・出資金は八尾市民から広く募り多くの方々の協力をいただくことが出来た。 ・ 現在、固定価格買取制度の固定価格は当初より下落はしているが、現在でも生産した電力の内、余剰電力を売電することで設置費用を回収・修繕費用を捻出できるように取り組んでいる。 ● 菜の花プロジェクトと八尾の伝統産業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒谷等で畑を借りて菜の花の栽培を行っている。 ・ また青森県で食用出来る菜の花の品種を取り寄せて、現在は食用出来る品種を栽培し、びん詰めした菜種油を提供している。 ・ 八尾は300年以上前に現在の玉串川や長瀬川の周辺が大和川の付替えにより新田が開発され、河内木綿と菜の花の二毛作(同じ耕地で1年の間に季節を分けて2種類の異なる作物を作り収穫する)が盛んになり、江戸時代には100年に1度の飢饉があっても、これらの農業が盛んであったため飢えをしのごうができた歴史がある。 ・ これは、かつての八尾では環境と経済と社会が共生できた歴史があることを物語っている(環境と経済が対立関係ではない)。 ・ ヨーロッパはオリーブオイルをかけて食べるなどの食習慣があるためオリーブオイルの生産・消費・廃食油活用が進んでいる。日本は菜種油を大量消費する食習慣はないが日本版の循環型が出来ればと思っている。 ● 昨今のコロナ禍の中で見つめ直すこととは <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルスが広がる中、人間のエゴ・我儘が環境破壊につながっている事を肝に銘じながら、これからの生活習慣・生き方・稼ぎ方を地産地消などの考え方を取り入れ、循環型社会で環境・経済・社会が共生できる地域循環共生圏のあり方を普及していく必要があると考えている。 <p>従来、農地の貸出には規制があったが都市農業振興基本法の成立後、農地バンクなどの制度もあり従来よりも農地の活用が進みだしたので今後の菜の花プロジェクトの推進にも拍車がかかると期待している。</p>

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
9	11月11日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>「安中新田会所跡 旧植田家住宅」指定管理者 特定非営利活動法人 HICALI 安藤 亮 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「大和川の付け替え」と「安中新田会所」 <ul style="list-style-type: none"> ・ はじまりは1704年の大和川の付け替えに始まる。 ・ 大和川が堺に付け替えられたことで旧大和川は現在の玉串川と長瀬川になった。 ・ 旧大和川の川底部分や河川敷の利活用が進んだ(新田開発)。川砂・川砂利は水捌けが良く、河内木綿や菜の花の栽培に最適であった。 ・ 新田は幕府の管轄で柏原の「安福寺」が「中心」となって開拓をした。安福寺の「安」と中心の「中」から「安中新田」と呼ばれた。 ・ 幕府から管理する権利を購入したのが植田家であり、管理する場所が会所と呼ばれる。当時の会所は管理するための事務所機能(土地の貸付・年貢の徴収・幕府に年貢を納める)と寄合で集まる現在のコミュニティセンターのような機能があった。 ・ 1711年(正徳元年)の「安中新田分間絵図」には、八尾市指定文化財である旧植田家住宅がある位置に「会所屋敷」と記されており、現在の屋敷が安中新田会所であると証明された。 ● 「安中新田会所跡 旧植田家住宅」の経過・機能・取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所はJR八尾駅南側の植松町にあり洪川神社の近隣にある。 ・ 2004年(平成16年)に持ち主から八尾市に寄贈された。八尾市の施設として展示機能や防犯カメラ等を改修時に追加したが、主屋は1760年以降に建築された当時の柱は梁など骨組みをそのまま保存・活用し、座敷は明治時代の状態である。「土蔵1」は江戸時代後期に建築された。「土蔵2」は大正時代に建築された。見方を変えると100年ほど前は土蔵の建築がされていたことに驚く。 ・ 施設は主屋や土蔵・展示室で歴史資料の展示が主な機能ではある。講座や講演会・コンサート・お茶会・食事会・河内木綿体験・昔遊びが企画されている。また、七五三・新年・成人式・ひな祭りの時期に「旧家で記念撮影」を開催している。 ・ この施設の特徴としては、昔の暮らしを体験できるように八尾市指定文化財で火を扱えることは非常に珍しい。 ● 周辺地域の歴史史料の保管活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 植松町の西の端に庄屋屋敷「旧辻田家」があったが2年前に取り壊された。旧辻田家で2万点歴史史料が保管されており、その中から土蔵に保管されていた襖絵(ふすまえ)を八尾市教育委員会文化財課で専門に依頼し2年かけて修復された。襖絵は「源恭義(みなもと やすよし)」で狩野永泰・岡田為恭(ためちか)に師事された。出身は大阪府和泉地方。 ・ 襖の表面は平安時代の「競馬(くらべうま)」という神事が行われている様子の大和絵である。裏面は水墨画の「岩濤に虎」の絵である。表面は座敷側に裏面は玄関側に行い虎が魔除け代わりの思いもあったと思われる。絵襖は冠婚葬祭等、特別の時のみ襖を取り換えていたそうで、日頃は土蔵に保管しており保存状態が良かった。 ・ 「安中新田会所跡 旧植田家住宅」の展示室で12月25日まで期間限定で公開されている。 ● 「河内の古民家めぐりネットワーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年前に中河内・南河内の古民家施設管理者等で結成され、昨年は「河内の古民家めぐりスタンプラリー」を開催した。

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
10	11月11日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>茶吉庵プロジェクト 代表 萩原浩司氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「茶吉庵」とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 河内木綿 山の根き組の木綿問屋・織元であった茶屋吉兵衛(萩原氏)の邸宅である古民家。 ・ 萩原家は 400 年前に恩智に移り住み「地域のためにお役に立つ」ことがお商売上の家訓である。古民家は築約 260 年以上の建築物であり、「地域のランドマークとして残してほしい」という地域の要望に応え、リノベーション工事を行った。現在は、国の登録有形文化財に指定されている。 ・ フラウドファンディングのファーボや知り合いなど紹介してもらい新井千春氏や近畿大学寺川ゼミ等と共に DIY 形式で着手し、2 年半前に第一期のリノベーション工事が完了した。 ・ 古民家は「大和棟」と呼ばれ、茅葺きと瓦葺きで屋根を葺(ふ)く工法で、生駒山系を真ん中に府県を跨いだ河内と大和地域に見られる工法。敷地は 500~600 坪、建坪は 250 坪。 ・ 現存する古民家を意識して「ほんまもん」にこだわることを軸に「つどい・いこい・つながる」をコンセプトに文化・芸術の拠点化を目指している。 ● 「茶吉庵」での取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一期リノベーション工事後、以下の取り組みを始めた。 ★ 「茶吉寄席」の開催。年 4 回実施し、天満天神繁盛亭から落語の寄席として認定を受けている。桂福団治師匠にお願いされ、場を温める「前座」・芸を磨く「中とり」・芸を魅せる「とり」の 3 席を番組提供している。 ★ 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる弦楽四重奏を披露する「やまんねき音楽会」の開催。弦楽四重奏はもとは宮廷音楽であり、古民家空間で宮廷音楽を間近で聴けることが魅力である。 ★ 「茶吉庵陶芸教室」の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵から将棋盤が出てきたことを機会に、将棋大会を開催した。将棋指しや審判を行う方を探していた。散髪屋さんで将棋大会の話をしたら、隣のビルに将棋指しがいると紹介してもらったのが志紀に居る大石 7 段であった。 ・ ご縁をつなぐ場になってきた。アーティストの応援や恩智に住もうと思う方が増えることを願っている。 ● 蔵サロン <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々の交流の場として木綿蔵を改装した。 ・ 水曜日はリラクゼーションとクレイセラピーを行う「Kokyu-瑚宮」を開催。 ・ 木曜日は花選びとレッスンや花雑貨を作成するなど、花のある暮らしを提案する「モンディマンシェ」を開催。 ・ 金曜日は「前向きに活動すること・ものごとに向き合うこと・楽しいことを素直に表現できること」を目的に理学療法士による子どもが安心して休憩できる居場所を提供する「あすとらるほーむ」を開催。 ・ 土・日曜日は河内地域の名産品を生産者のストーリーを添えて販売し、河内の歴史・文化・観光情報など魅力を発信する「河内物語」を開催。 ● 今後のリノベーションの予定・展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ リノベーションは 20 年計画で考えていて、古民家の土台の下の床束と礎石がずれてたり、3 cm 地盤沈下していたり、庭の塀が 20 度傾いている等々、敷地内の建築物や庭も含めて順番にリノベーションを循環し持続可能にしていく事を考えている。

No.	日付	開催名称／ 開催場所	収集内容
			<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の講座提供によるターゲット拡大【出会いの場を提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶吉庵文化サロン「月1文化サロン」を来年度に実施する予定。 ・ 40講座を提供し、古民家空間で「手軽に気軽に和気あいあい」をキャッチフレーズにお試しに新しくはじめる機会を提供する。1講座6人程度を定員として、10時～を2講座、13時～を3講座、16時～を2講座の計8講座を1日に開催し、1週間の内水木金の3日を開催。毎月第2週・第3週で行い、毎月合計48講座を展開する(8講座/日×3日/週×2週/月)。 ・ 講座の一例として、ヨガ・ウクレレ・シルバーアクセサリー・筆文字・心理学・仏教講座・お能・和太鼓等。講師陣は古民家で講座をやりたい講師が神戸や西宮、堺など遠方からも来られる。 ・ 「月1文化サロン」は「茶吉庵陶芸教室」が実験的にを行い、2名の講座生からスタートした。好評で6名まで参加が増え2クラス・3クラスと拡大し、月2回(第2土曜日・第4日曜日)と講座数が増え、合同発表会まで発展した。新しいターゲットを拡大することが出来たことで、「月1文化サロン」として40講座まで多様な講座を内容と回数を拡大していく事になった。 ・ 近隣に「南高安コミュニティセンター」でのコミセン講座とは差別化を図ろうと考えている(対象者・講師陣など)。 ● 「地域のためにお役に立ちたい」原点から <ul style="list-style-type: none"> ・ 民設民営で行い、出会いの場として「つどい・いこい・つながる」拠点となってきた。また「ジャパン・アーティスト展」の開催など芸術・文化のアーティストを育成・応援する場にもなって来た。 ・ 登録有形文化財として国からも認めてもらい「茶吉庵」をより多くの方からの認知を受けることで、地域のお役に立ちたいことをもっと発信していきたい。 ● 収録後のこぼれ話：「恩智の名の由来」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本書紀に「恩ある地 母木の里」と漢語で書かれた文面がある。これは日本神話であるが神武天皇が海から恩智の「天王の森」に逃げ込んだ時に「船渡講(ふなところ)」によって助けられた神武天皇が、天王の森の大木を見て助かった気持ちを「恩ある地 母木の里」と感謝の気持ちを述べた事から、恩地・恩知(現在の恩智)の地名になったそう。「母木の里」は恩智川に架かる「母木橋」に名が残る。元々、恩智神社は「天王の森」にあった。 ・ 「船渡講」とは、現在の恩智神社の2000年続くとされている氏子達と言われている。大東家・安井家・高田家が挙げられる。 ・ 安井家本家には井戸があり、発掘調査で井戸の下に弥生時代の舟が発見された。 ・ 戦国時代に織田信長によって恩智の地は焼き討ちにあい、戦国時代以前の歴史史料が残っていない。江戸時代も幕府の地・天皇の天領として扱われ、旗本の板倉家がにらみを利かしていた。

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
11	2月19日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>阿瀬 慶子 氏（環境アニメイティッドやお運営委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動：エコロジー美園小での「こどもエコクラブ」活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 18年前、結婚を機に八尾市に住む。 ・ 子どもが小学校へ入学した11年前に、美園小学校 PTA 部会の活動である「エコロジー美園小」に参加をしたのが活動のきっかけとなった。 ・ 当初は、エコロジー美園小の「こどもエコクラブ」活動の参加者だった。 ・ 4～5年程前からエコロジー美園小の代表になり、2012年度から行われている中央環状線高架下での「つどい体験会」で菜の花や河内木綿を通じた体験会に携わる。同じ場所で菜の花プロジェクトとして菜の花の栽培を行っていた「特定非営利活動法人 自然環境会議八尾」と連携を深め、エコロジー美園小の子どもたちが自然や八尾の伝統農業・産業に遊びを通じて戯れることで子どもたちの主体性を育むため、子どもたちや保護者の体験したいことは何かを考えて実践されている。 ・ 現在は、子ども達が主体的に活動するようになってきており、お借りしている美園小学校内の畑でも菜の花の栽培活動に発展し、連携が強化している。 ● つどいとの関係、つながった経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10年以上前に「環境アニメイティッドやお」が主催する大阪経済法科大学 花岡キャンパスで開催した「いきいき八尾環境フェスティバル」において、つどいの新福と出会った。また、八尾北高校で開催していた「ビオトープ活動体験&野外調理体験」に参加していた時にも新福と出会っており、新福は八尾北高校の先生だと勘違いしていた。 ● 地域での防災活動：女性防災士 <ul style="list-style-type: none"> ・ 美園小学校区まちづくり協議会から5名が選出され、防災士の講座やワークショップに参加した。最初は防災について受講する感覚で参加した。 ・ 受講前は避難所に行けばどのような対応をしてもらえるのかという受け手側の発想だったが、受講後は自分達で避難所を運営しないといけないという自助(自立と自律)と自治の考えが芽生えたことが大きな変化だった。 ・ 避難所は力仕事のイメージもあり男性目線になりがちだが、女性特有の避難所生活における被害もあり、自分の身を守ることが水・食べ物・エネルギーの確保以外の意味もあることを十分に学んだ。 ・ 避難所生活における被害は、避難所から離れたトイレへの道中に女性が襲われることや、就寝中に毛布に男性が潜入して女性を襲うなどの事例がある。また、女性目線として授乳するスペースがないことや、避難所である体育館では下着を干すことが出来ないなども報告されている。 ・ 日頃の防災としては、備蓄している食品の賞味期限前や消費期限前に調理し、また新しい備蓄を調達する「ローリングストック」を行っている。また、アルファ化米など備蓄している食品を災害時を想定して調理することで、安心感が芽生えながら備える準備にもつながっている。さらに「パッククッキング」という耐熱ビニール袋に米と水を入れて湯煎でご飯を炊く災害時に出来る調理方法も実践されている。 ● 防災とアウトドアの共通点 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプを行う際は、野外で調理などを行っている状況を一種の災害時の体験を無意識に行っている。またキャンプや登山の際には服装が重要視され、素材別での重ね着（レイヤー）のコツがあり、コツがわかれば3枚衣服を着用するだけで十分な防寒対策が出来る。 ・ 屋外の自然環境に囲まれたキャンプ生活は、災害時の生活状況に近く、共通点が多い。防災を意識したキャンプ生活を行うと、災害時を想定した生活体験を楽しく実践できる貴重な機会になることに気付かされた。 ・ そのような共通点や分野を超えたつながりを収録に参加した全員で認識することが出来た。

No.	日付	開催名称／開催場所	収集内容
12	3月17日	FM ちゃお「情報プラザやお」環境活動のご紹介に収録参加／FM ちゃお	<p>石田 奈津子 氏(個人活動家)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまでの活動：“企画好き”から「地域と都市をつなぐ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実家がお寺(大阪市西区南堀江1丁目)であることから、もっと気軽にお寺に来てもらい、お寺に親しんでもらうために、4年前から「お寺カフェ」を週3日開催している。 ・ 企画することが好きであることから依頼を受け、京都の漬物屋の裏の元仕込み場を利活用として、発酵酒場イベントを企画。元仕込み場の剥き出し感を活用し、漬物の“発酵”とお酒好きが高じて“酒場”をペアリングして「発酵酒場」という名称で好評を得た。 ・ 長崎県佐世保市では、「おばあちゃんたちと新しいブランド野菜を創ろう!」と題して、売れる軽量野菜づくりを目指して2019年春から和薄荷(わはっか)の栽培を始めた。 ・ 三重県尾鷲市ではヒノキを活用した「ご当地除菌水(ヒノキスプレー)」のクラウドファンディングや販売促進にも携わっている。尾鷲では、「お母ちゃんのランチバイキング」では60歳以上の尾鷲市に住む女性を中心に、地元で収穫した旬の食材から地元料理を提供している。 ● コロナ禍で考えた、オンラインスナック「スナック奈津子」 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で地域活性化やまちおこしに取り組む活動先へ移動することができなくなった。地域活性化やまちおこしにつながるものが出来ないか考えたのが、オンライン上でスナックを行うことだった。 ・ オンラインスナックでは、「地域・人・食をつなげる」を目的に予約制で入店料をPayPayで支払ってもらい、これまで携わったことのある地域から、事前にその地域の特産物をオンライン参加者にご送付し、オンラインで一緒に食べながら、共通の話題で交流を図る。オンラインでは、現地の生産者や地域プレイヤーも参加され、生產品や地域のお話も行った。 ・ 産地の食材等のPR手段にもなり、オンライン上で参加者と地域の生産者や調理者の方々とのつながりも生まれ、コロナ禍後には現地に赴く機会にもつながる。 ● 活動から学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍という大きな世の中の変化に対応する力(企画力と実行力)。 ・ 変化に対応するにあたっての「こだわりのなさ」(こだわらずに、出来ることで発想・企画し対応する力)。 ・ グローバルに全国各地に携わり様々な産地特産や人脈を活用。 ・ ITツールの活用(Zoom・youtube・PayPay等) ・ 地域・人・食の3つをつなげることで、地域活性化・まちおこしを目的にしている点はブレずに実直に行っている点。 ● 環境アニメイティッドやおとの協働 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「里山SOS!池の水すべて抜いてみる大作戦 in 八尾」や「ヤオビアの泉」の企画や実施にあたっては、まちづくりをしている方と話をしている、テレビで池の水を抜き、外来種駆除や池の浄化を行っていることを知り、YouTube動画でオンライン中継を行うことを企画した。 ・ エコ活動に関心のない方や、活動に携わったことのない方にYouTube動画やオンライン中継で情報提供し、参加する機会の提供になればと企画・実行された。

○ NPO・中間支援に関する事例の収集【書籍から】

No.	日付	収集内容
1	5月8日 5月10日	<ul style="list-style-type: none"> NPO 法人の事業報告書等の提出期限について(新型コロナウイルス感染拡大防止によるため) NPO 法と法人税法における役員報酬の考え方について
2	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> 冊子「くらし×〇〇 つなぎの手帖」。(発行:認定 NPO 法人日本 NPO センター・NPO 法人ふくおか NPO センター)では、福祉分野を事例に見た中間支援について情報収集を開始。 冊子「知っておきたい NPO のこと(シリーズ 1~5 までの 5 冊)」(発行:認定 NPO 法人日本 NPO センター)では、NPO 法人の基本・資金・協働・参加・事業評価について情報収集を開始。 <p>※上記は「中間支援・NPO に関するスタッフ学習会」でスタッフが輪読発表し、共通認識を深めて行く。</p>

○ 地域活動の情報収集

No.	日付	収集内容
1	5月1日	八尾市自治振興委員会が八尾市の審議会・市民会議への参画状況を収集。
2	9月5日	<p>久宝寺小学校区まちづくり協議会・久宝寺地区福祉委員会での共同発行である「久宝寺地区地域活動まるわかりガイド このゆびと一まれ!」について、中島氏(久宝寺まち協会計・久宝寺地区福祉委員会総務部会長)と太田氏(久宝寺まち協専門部会・久宝寺地区福祉委員会総務部会)にヒアリング・意見交換を実施。</p> <p>「つどい」では、1年以上前に「このゆびと一まれ!」の冊子を作成することをお聞きしており、一度お話しをしたこともあってコロナ禍の中で作成が出来たのか確認をしたい中、先日「八尾市まちなみセンター」訪問時に、冊子の発行を確認したことで情報収集を行うこととなった。</p> <p>昨年7月14日に久宝寺地区の地域活動を網羅し、俯瞰した情報冊子を作ろうとおふたりが企画し、久宝寺小学校区まちづくり協議会・久宝寺地区福祉委員会と合意を得られ実施した。</p> <p>久宝寺地区に在住・在勤する方、どなたにも久宝寺地区の地域活動そのものを知ってもらう認知・広報として作成された。</p> <p>また、行事開催時の主催者と参加者が完全に分離し馴染みにくい中で、「このゆびと一まれ!」の冊子をきっかけにコミュニケーションやコミュニティづくりに寄与したい思いで作成された。また、地域活動を行う立場から仲間づくりとして人材を集める前に、何を活動しているか皆さんに知ってもらうために市民目線を大切にされながら作成された。</p> <p>役割分担は中島氏が「このゆびと一まれ!」の企画・スケジュール・予算申請・各種団体への原稿や写真の提出依頼及び原稿の添削などを担当。太田氏は「このゆびと一まれ!」の発案とデータでのデザイン作成・印刷の発注を担当された。</p> <p>発行部数は4500冊(単価40円)で18万円の予算を校区まちづくり交付金の予算で発行した。デザイン料はなく、プリントパックへの印刷代である。</p> <p>また「このゆびと一まれ!」に掲載した内容等で変更があった場合は、機関紙「花みずき」「かきつばた」で情報発信することで広報媒体の役割も図っている。</p> <p>各種団体に原稿依頼を行った際に原稿作成を通じて各種団体の理念をもう一度振り返ってもらいたい思いがあり、ひとつの狙いでもあった。</p> <p>久宝寺の各種団体が世代を越えて原稿・写真提出など協力的であり、一体感を感じた様子だった。今回の「このゆびと一まれ!」の冊子の作成にあたって、同じ目的・趣旨で「つどい」が作成した「やお市民活動ハンドブック 2014 つなぐ」が作成時のつなげて行く横串の目的や編成方法などとても参考になられた。目には見えない作成時の苦労や気遣い、エネルギーの掛け具合などが垣間見られたとご意見をいただいた。「やお市民活動ハンドブック 2014 つなぐ」が時を越えて、間接的なご支援をいただいたとお礼のご挨拶があった。</p> <p>また、八尾市は校区まちづくり協議会と地区福祉委員会の役割分担を示されていなかったため、久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区福祉委員会の位置づけを「このゆびと一まれ!」の作成を始めた1年間に「つどい」と話した時にアドバイスや考えも含めて、久宝寺小学校区まちづくり協議会の構成員に久宝寺地区福祉委員会が構成していることを図解化し、各協議会・委員会に構成する団体や部会等の組織を「このゆびと一まれ!」で示すことが出来た。これを示すことが出来たことで、俯瞰・網羅できる情報を冒頭に入れることが出来「このゆびと一まれ!」を作成することが出来た。</p>

○ 八尾市関係の情報の収集

No.	日付	収集内容
1	7月2日	<p>「新やお改革プラン及び実施計画」を八尾市ホームページより収集。</p> <p>「校区まちづくり交付金とその他地域活動対象補助金のあり方見直し」については、「つどい」でも昨年度の政策提案を行った内容であることを確認した。</p> <p>「校区まちづくり交付金のあり方見直し」も同実施計画に記載を確認し収集。</p> <p>「つどい登録団体」に関する項目も同実施計画にあり方の見直し等で記載していることを収集した(街かどデイハウス事業・八尾河内音頭まつり・環境アニメイティッドやお協議会負担金・まちづくり教室の廃止・PTA協議会運営補助金・つどいの広場事業委託)。</p> <p>八尾市内施設・指定管理者に関するあり方の見直し等も同実施計画に記載していることを収集した(コミセン講座の委託料・文化会館の改修内容・放課後児童室・山本及び志紀図書館の指定管理者制度導入・外郭団体への運営費補助金・やおコミュニティ放送(株)・(一社)八尾市観光協会・(公財)八尾市文化財調査研究会・文化会館の指定管理業務・リサイクルセンター学習プラザの管理運営方法)</p>

○ 出張所等(地域拠点施設)の訪問

地域拠点施設	訪問日時	対応者	担当まち協
緑ヶ丘コミセン	8月26日(水)13:30~14:30	木下氏	用和・長池
志紀出張所	8月26日(水)15:30~17:30	志紀小学校区まちづくり協議会酒井事務局長・木下副会長	志紀
龍華出張所	8月27日(木)15:00~16:15	亀谷氏	安中・龍華・永畑
安中人権コミセン	8月27日(木)16:30~17:45	出口氏・北口氏	高美・高美南
竹淵出張所	8月28日(金)14:30~15:30	濱田氏	竹淵・亀井
久宝寺出張所	8月28日(金)16:00~16:30	水野氏	久宝寺・美園
西郡出張所 桂人権コミセン	9月3日(木)14:30~	富田氏・永家氏	西郡・北山本
山本出張所	9月3日(木)16:00~	久保氏・橋本氏・黒田氏	山本・上之島 東山本・西山本 南山本・高安西
南高安出張所	9月4日(金)10:30~	中西氏・安芸氏	南高安
高安出張所	9月4日(金)11:45~	高萩氏・岩井氏	高安

○ つどい登録団体の情報の収集【取材】

No.	日付	収集内容
1	8月10日	<p>「人権を考えるひとりひとりの会」主催の「前川喜平講演会」へ取材。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマは「教育の大切さと恐ろしさ」であった。 ・ テーマに入る前にこの度のコロナ禍における政府の対応として、教育関連から全国一斉休校について取り上げてお話をされていた。法的拘束力がない中、総理大臣が各都道府県の教育委員会に休校要請を行ったが各市町村も含め公立の99%の小中学校(特別支援学校は95%)が休校を行った。これは御上という事に従い、責任を取らない体制・主体性のない判断であり主体性がないのは自治がないことも意味をしているという考えをお持ちだった。 ・ 虐待の相談件数は、1月~3月までは前年同月比で10%増加(毎年増えている傾向)したが、4月は前年同月比で3%増、5月は6%減になった。減少の要因はこれまで通告した学校や病院が休校や通院しないことが理由で、第三者による虐待が発覚しないことが考えられる。 ・ 「教育の大切さ」として、人間は学ぶ事は不可欠な生き物で一定期間集中して教育を受けることが重要だと考えている。文部科学省の学習指導要領は学問の世界から導かれたものであり、政治の影響で導かれるものではないことを主張されていた。 ・ 憲法23条に学問の自由、憲法26条に教育を受ける権利が謳われていることを紹介された。憲法は国民に権利を保障するものでもあるが、国民が国に義務を負わせるものという考えをお持ちであった。 ・ 夜間中学については、戦後、学校の先生たちの頑張りや草の根で夜に学校を開いたのが始まり。現在は戦後学べなかった方達や外国人の学び場(日本語を学ぶ等)、学齢を超えた方(昼間の中学校に年齢的に受け入れてくれないなど)が対象になってい

		<p>ることを情報提供された。外国人向けに無償の日本語学校を創設することを提案され、また外国籍で就学していない子どもが増えている(年間2万人と講演者は推定)ことを社会問題として取り上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、民族学校について政府自身が差別している傾向があり、多民族が各国の母国語や文化を学ぶ必要があると主張された。また出生率低下により現在出生者数が80万人台になり、60年後には現在の出生者数の約半分になることが計算上予想できることを主張されていた。重ねて、日本人の人口減少の中で多民族を日本が受け入れた共生社会を将来、日本で実現しないと日本社会が成り立たないだろうと主張をされていた。 ・ 「教育の恐ろしさ」として、国の役に立たない人は不要とか日本人でない人には教育はいらないという危険性などが考えられ、特に道徳が教科になったことを危惧していた。これは日本の教育政策が「学問や教育は自分のためにある」のかまたは「学問や教育は国家のためにある」のかで教育に対する思想が時代と共に振り子のように何度も繰り返されたことを伝えていた。 ・ ※ 前川喜平氏は、元文部科学省の事務次官。
--	--	--

○ 交流会開催時の情報の収集【山本コミセンラウンドテーブル(開催場所:山本コミュニティセンター)】

No.	日付	収集内容
1	6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「南山本小学校区まちづくり協議会」及び「南山本地区福祉委員会」及び「南山本地区自治振興委員会」の会長及び委員長の交替挨拶、初参加での自己紹介。 ・ 「ラウンドテーブル」の用語の意味及び実施の意義を共有。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止による活動自粛での課題共有(東山本小学校区まちづくり協議会主催の「ラウンドテーブル」の議事録作成者担い手づくり)(新型コロナウイルス感染拡大防止に関する問合せ対応に困惑。特に行政の対策など動きが情報共有出来ず困惑) ・ 「ふれあいまつり(盆踊り大会)」の今後の開催のあり方(防災へ活動をシフトしたい考え)の校区まち協もあった。 ・ 校区まち協・福祉委員会・自治振の活動の役割分担(共同宣言)や事業型での実施体制について共有(山本小学校区まち協)。 ・ 健康センターに保健師が集約されてから保健師の動きが把握できず、各校区まち協が問合せ対応に困っている(保健師の意義・必要性の説明含む)。 ・ 保健師が出張所に配置された時は、年間2,000人が相談に来所。 ・ 保健師も地域に根差して、健康以外のDV・幼児のひとり留守番なども相談窓口として赴いて対応した保健師も居ることを情報共有した(西山本小学校区まち協)。その助け合いを地域に広げたいから自治振地区委員長をお引き受けした。 ・ 民生委員の推薦について(地区福祉委員会とは直接関係ないことを情報共有した)。 ・ 地域分権は第四次八尾市総合計画では「地域経営」として各小学校区に「ラウンドテーブル」の開催を促したが、現在では東山本小学校区のみ継続となった。「ラウンドテーブル」や「地域経営」の検証を行わず、また各小学校区で意見を聴取する機関と決定機関をつくることをされないまま、第5次八尾市総合計画では「校区まちづくり協議会」を条例で定めた。設立準備会が2011(平成23)年度からスタートして今年度で約10年になる(東山本小学校区まちづくり協議会)。 ・ 「ラウンドテーブル」から地域分権へ参画するアプローチを情報共有。
2	8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「西山本小学校区まちづくり協議会」会長初参加(増田会長挨拶)、全員の自己紹介。 ・ 八尾市交通対策課参加:山本出張所管内3中学校区別「移動に関する実態調査結果(概要)お知らせ」の説明があった。公共交通の拡充・交通不便地における新たな交通手段の確保の実現など、市民の移動の円滑化を図る目的としてアンケート調査を実施した。結果報告について説明があった。参加者からの質問について、地域も協働で取組むならばまち協が公共交通を支える仕組みも検討する考えや、アンケートでの記述式の回答情報を求める声もあった。 ・ 各小学校区におけるまち協・地区福祉委員会・地区自治振興委員会の情報を共有した。警察からの提案により、地域活動を行う有志で「地域見まもりネットワーク」での取組みを情報共有した。また、小地域ネットワーク事業について社協とのすり合わせを行う予定であることも収集した。 ・ 「新やお改革プラン」の実実施計画等について情報共有し、当プランの趣旨などをお伝えした。また見直しする項目の中で「校区まちづくり交付金とその他地域活動対象補助金のあり方見直し」「校区まちづくり交付金のあり方見直し」など、市民活動・八尾市公共施設に関係することも含め見直す内容について情報共有した。 ・ これまでの地域活動・市民活動は当事者(第一の顧客)から資金面で徴収がしにくいことから、行政からの補助金・交付金で運営してきた。しかし見直しが検討されていることから、時間・人員・資金面等の協力を第三者(第二の顧客)から得なければ、成り立たなくなる事を情報共有。 ・ 自主事業の定義、寄附・協賛・会費と自主事業の違い、自主事業以外の寄附・協賛と構成員からの会費、民間の助成金など財源の種類について意見交換を行った。 ・ 自主事業の難しさを痛感している参加者もいた。

No.	日付	収集内容
3	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ● 「市民スポーツ祭」で補助金以外の資金調達について <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者から情報を得たいと質問があった。 ➤ 山本小まち協：町会から100円/世帯を負担し、地区自治振興委員会経由で拠出している。 ➤ 上之島まち協：地区福祉委員会から10万円を拠出(原資は町会で地区自治振興委員会経由)。協賛金として10万円の寄附をいただいている。 ➤ 高安西まち協：地区福祉委員会が行う行事を負担していて、会費と協力金の合計金額500円/世帯を拠出(原資は町会で地区自治振興委員会経由)。 ➤ 西山本まち協：地区福祉委員会から15万円を拠出(原資は町会で地区自治振興委員会経由)。 ➤ 南山本まち協：町会から450円/世帯を負担し、地区福祉委員会経由で拠出(原資は町会)。 ➤ 東山本まち協：これまでは地区自治振興委員会の地区委員費用弁償として、八尾市自治振興委員会から支払われていた「地区活動費」を拠出していたが、町会からの拠出金もあるので、数年前から地区活動費が拠出されなくなった。 ・ 八尾市自治振興委員会では本体会計の「地区活動費」を見直している。 ・ また市民スポーツ祭での協賛金・寄附は、顔で成り立つといった人間関係の要素が大きい。これからは誰もが組織として協賛・寄附を得られるようにしていきたい。 ● 最近の地域活動状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 東山本まち協：「はるごと」を開催できなかったため秋の「こどもの運動発表会」にて写真撮影を行った。0才~2才までを対象に丸1日、3才~5才までを対象に丸1日6才児以上を対象に丸1日計3日間撮影に没頭した。 ・ 西山本まち協：グラウンドゴルフを小学生も招き入れて、大人と一緒にチームに入ってもらおう企画で11月に実施する。高安西小でのグラウンドゴルフは大人だけで100人になり、子どもを招き入れると昼までに終了することが出来ないと感想があった。また本当は子どもも参加してほしい思いもお持ちだった。西山本は子どもを入れて100人程度になるため、子ども達と一緒に開催が出来ているとのことだった。 ・ 西山本まち協での防災訓練は実施が難しいので「無事」と書いた旗を作成して、災害時に家の人が無事であることがわかるために旗を掲げてもらう意味で作成をする。 ・ 南山本まち協：「わくわくプラザ」の開催が26周年になるが3月は中止する。会議で人が集まることは出来ても多くの方が参加する行事の開催は難しいと判断した。敬老祝寿祭は中止になったが、これまで記念品で提供していた「手作りみそ」は開催するはずだった会場まで来られた方に渡すのか、独居の方でコロナ禍の中で外出を控えている場合にはお渡し出来ない課題があるので、記念品を提供するかどうかを現在検討している。 ・ 山本まち協では地区福祉委員会が主催する敬老祝寿祭は700名が参加する大規模開催であったため、今年度は中止した。 ・ 東山本まち協：明日に東山本小学校4年生の社会科の授業で大和川と地域の歴史について現地を歩きながら学習を行う。大和川まで約10Kmを歩く。また地域には様々な歴史と携わった人を知ってもらうこと、地域の歴史に詳しい方が地域には居ることで直接学習することを狙いにしている。課題は小学生に地域の歴史がわかる伝え方が出来るかであり、Power Pointをカラープリンタで印刷・配布して、紙芝居形式で提供をしたい。 ・ 担任の先生の思いや校長先生の理解なども把握しながら、テーマ型の市民活動団体が、地域や学校との協働の模索を行って行きたい。

No.	日付	収集内容
4	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ● 校区まちづくり協議会活動成果報告会の動画撮影(コミスタ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 上之島まち協：地区福祉委員会や自治振興委員会との連携強化等の特色を説明。これからの取り組みは町会加入のPRの必要性和高齢社会への対応が今後の方向性であると述べた。 ・ 山本小まち協：思いのある人・やりたい人を探し事業を担っている。自助・共助を目指す防災訓練、北山本小学校区まち協との連携による青色防犯パトロール、個人の自立として「おひとり様メンズケア男子料理会」を取り上げた。まち協・福祉委員会・自治振興委員会の3者での共同宣言と「つどい」の共同宣言策定のコーディネート支援を述べていた。 ・ 高安西まち協：高齢化率が八尾市の平均よりも1%程度低い特徴を述べた後、地域活動の根幹として「人の喜びは自分の喜び」「世話好きは性分」であることが人の大切さと楽しさにつながることを述べていた。 ・ 南山本まち協：「給食サービス」や「ふれあいまつり」について述べていた。また「ふれあいまつり」は開催の要望が強いことから今後も継続を検討している。 ・ 西山本まち協：「玉串川で金魚すくい」「防災訓練」「安否確認旗」の取り組みなど、子どもや防災に特化して取り組み、安全・安心のまちづくりを地域主体で取り組んできたことを述べていた。 ・ 東山本まち協：「まちづくり」や「地域課題」に関心・興味を持ってもらい参画する入口の提供に特化して来た。そのための情報共有化をキーワードに当小学校区の地域課題をみんなで共通認識するために「ラウンドテーブル」を19年5か月間233回に渡り開催し「幼稚園の統廃合」「地域猫の対策」「選挙投票率の向上」「通学路の安全」など各テーマから「まちづくり」に目を通してほしい思いを述べていた。課題はWebテーブル&リモート飲み会を行い、ラウンドテーブルに来れなくても参加できる仕組みを構築したいと述べていた。 ● 動画撮影後の感想タイム <ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子を囲んで、登壇者以外の方から感想をお聞きした。 ● つどいとして地域分権推進の視点から感じたこと <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで地区福祉委員会が取り組んできた自助・共助を行う人づくりと言う地域福祉と、校区まちづくり協議会の目的である「地域分権」や「地域自治」を育むためにテーマ別で行う「市民主体のまちづくり」の両面が混在した発表だった。

No.	日付	収集内容
5	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ● 山本コミセン運営協議会について <ul style="list-style-type: none"> ・ 山本コミセン運営協議会では7小学校区の代表が参加している。現状は地区福祉委員会の会長が参加している。山本コミセン運営協議会の会長は木下次郎高安西地区福祉委員長が務めている。 ・ コミセン運営協議会では月に16~17講座の開催について企画など検討をしている。 ・ これまで山本コミセン運営協議会では地域グラウンドゴルフ、クリスマスのビックバンドショー、コミセンまつり等の行事を開催してきた。 ・ 講座の参加費等の徴収は市が直接業務に位置付けられ携わっていた。来年度からは八尾市が直営で行うことになっているが、企画や行事運営など地域活動団体が運営に携わるように、自治につながるように地域活動団体が参画することは求められている。 ・ 講座受講生が習得後の活躍の場や活かせる場づくりが地域活動団体や行政共に用意がされていない。そのようなアフターフォローや、受講生の人数など講座の人気だけではない評価や判断が必要ではないか。 ● SDGsを意識した取組みの検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉と健康を軸にSDGsの考えも取り入れたセミナー等の実施を考えている。また市民活動団体「SDGs草の根連絡協議会」も立ち上げた。 ・ 日常生活で行われている事をSDGsに当てはめてみて意識付けにつなげていきたい。 ● 地域課題の掘り起こしとは <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題の掘り起こしや地域課題の共有と言われているが、地域にどのような人材や地域資源が眠っているのかが地域活動団体では把握できていないと感じる。 ● 要支援者名簿 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援者本人の同意がある方のみ名簿に掲載がされる。また障がいの有無も同意があれば同様に掲載される。 ・ 民生委員は独自に面会等で情報を得ている場合があるが、守秘義務があるので情報公開や情報共有が出来ない。 ・ 公開したくないなど理由があり名簿掲載に同意されない方もいるので、地域の要支援者名簿はすべてを網羅・把握しているとは限らない。 ● 「コロナ予防接種」と「今だからそこ地域に出来ること」 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中、今後、市町村行政で予防接種を実施する場合、校区まちづくり協議会が地域の声を聴き予防接種実施に向けて行政への協力や応援を行いたい。ぜひ行政は校区まちづくり協議会をあてにしてほしい。 ・ 校区まちづくり協議会は実施したいという意思表示を行って行きたい。 ● 来年度の校区まちづくり協議会の事業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 山本まち協：引き続き考える1年にしたい。地域に関心のない人とつながるためにどのような活動をすべきか方向を定めて行きたい。 ・ 東山本まち協：コロナ禍でも出来る活動方法を考えていきたい。他団体で街歩きを行っているが、定員以上の参加があり班を設けて三密防止や非接触に努めた。実践活動や野外活動のニーズはあると考えている。河川の清掃活動も土曜スクールで中学生の参加は難しいが、有志を募り細々とでも実施したい。そうでないとコロナ禍が終わったとしても活動の再開が出来ないと危機感をもっている。 ・ 上之島まち協：山本小学校区を参考にしながら3月27日に3団体(校区まちづくり協議会・地区福祉委員会・地区自治振興委員会)が集まり合同役員会を行う。地区福祉委員会事業の体制や事業の編成を行う。 ・ 高安西まち協：来年度に地区福祉委員会の幹部に40~50代が参画する予定。新旧交代を行い活動の深堀りを図りたい。 ・ 西山本まち協：今年度の総会は緊急事態宣言の発出もあり、書面決議で行った。そのため、校区まちづくり協議会の会長の交代を行ったが、書面決議のため会長以外の役員の顔と名前が一致せず顔合わせができないままになっている。来年度の総会は顔合わせが出来る開催を望む。事業内容として、オリエンテーリングの情報を得ながら開催を検討したいと考えている。要支援名簿の件で話があがった民生委員については、これまでは自治振興委員のタイアップをして来たが今年度は活動停止で出来ていない。 ◇ オリエンテーリング:地図などを用いてスタートから指定されたポイントに順序を追って通過し、ゴールまでの所要時間を競う野外スポーツの一種。すべての人が自分の能力に合わせて挑戦し楽しむことが出来る生涯スポーツとしてもふさわしい競技とも言われる。 ・ 南山本まち協：3月13日に集まって決議を行う。議案の中で、アクリル板で仕切ることによって地域ふれあい喫茶の再開を検討したいと考えている。要支援者名簿の件で話がでた民生委員については、自治振興委員のタイアップが出来なかったため、今後検討していきたい。

【イ】活動主体による公益的活動等に関する情報発信

○ つどいパンフレット

- ・ 屋外掲示コーナーに配架を実施。

○ めだかの提供によるつどいの PR(5 月～8 月)

- ・ 以前、登録団体の「華めだか彩鱗庵」から提供いただいためだかが孵化し、200 匹以上の稚魚が誕生したことから、無償譲渡を行うことで「つどい」と「華めだか彩鱗庵」の PR を行った。
- ・ また、お渡しする際には「つどいパンフレット」とあわせて、ビオトープやメダカについて紹介している八尾北高等学校「ビオトープ活用研究会」の配布資料と注意事項を作成し、一緒にお渡しした。
- ・ 6 月 26 日(金)からはつどいで誕生した稚魚が全て譲渡でき、元つどいボランティアからめだかの稚魚を譲ってもらい、好評につき引き続き無償譲渡とつどいの PR を継続で行った。
- ・ 提供した世帯：37 世帯
- ・ 8 月 21 日(金)に「めだかの壺」が盗難されたことがわかり、八尾警察に被害を報告。8 月 21 日(金)及び 26 日(水)に八尾警察から事情聴取を受ける。

○ 機関紙「つどいの定期便」の発行【延期】

- ・ 奇数月(2 ヶ月に 1 回)発行の予定であったが、臨時休館の延長及び市民活動団体へのイベント開催の自粛要請により、引き続き第 3 号の発行を延期した。

○ 広報支援(情報発信の支援): つどいブログ・SNS での情報発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
1	4 月 10 日	つどい登録団体主催イベントなどの中止・延期のお知らせ ・ 4/5 前川喜平 講演会 ・ 4/26 猫の里親譲渡会 in 八尾 ・ 5/6 第 8 回わくわくまつり ・ 5/30・31 ハッピーアース デイ大阪 2020	・ 人権を考えるひとりひとりの会 ・ 八尾ねこの会 さくら ・ 健康子育て支援団体 すまいる ・ ハッピーアースデイ大阪実行委員会	チラシ、各団体の Web、公式アカウント等から「つどいブログ」「Twitter」で発信
2	4 月 12 日 4 月 29 日	「祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティアリーダー募集」のお知らせ ※29 日：宵山行事の縮小開催に合わせた、募集要項の変更を追加し発信。	一般社団法人 祇園祭ごみゼロ大作戦	チラシ、団体の Web から「つどいブログ」「Twitter」で発信
3	4 月 30 日	「子どもの居場所」開設にあたってのご寄付のお願い	Astral box	団体の公式アカウントから「Facebook」で発信
4	5 月 7 日	「特定非営利活動法人 日本子ども支援協会」の活動内容と現在の団体の活動状況について情報発信。	特定非営利活動法人 日本子ども支援協会	団体の Web から「つどいブログ」「Twitter」で発信
5	5 月 15 日	市民活動団体を支援するために設立した新型コロナウイルス緊急支援サイトについて情報発信。	社会福祉法人 大阪ボランティア協会	団体の Web から「つどいブログ」「Twitter」で発信
6	6 月 5 日	八尾市環境総合計画改定市民ワークショップの参加者募集	八尾市環境保全課	八尾市 Web から「つどいブログ」「Twitter」で発信
7	6 月 6 日	館前配架コーナーの紹介を兼ねた情報誌・広報誌、チラシの紹介 ・ 新 Yaomania ・ かわちの風 ・ ボランティア芸能 阿波踊り 河内連メンバー募集	・ 八尾市観光協会 ・ 環境アニメイティッドやお ・ ボランティア芸能 阿波踊り 河内連	情報誌・広報誌は団体の Web から、チラシは画像データにして「つどいブログ」「Twitter」で発信
8	6 月 17 日	マスクツリープロジェクトご協力をお願い	・ World Seed ・ ダブルスマイルサンタ ・ Pure Hugs	チラシから「Instagram」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
9	7月3日	和装・作法教室のお知らせ	・ 和装・作法教室 ふたば会	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
10	7月8日	枝豆パウンドケーキのPR	・ 特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク	チラシから「Instagram」で発信
11	7月8日	移動式子どもの居場所 あすとらるほーむ	・ Astral box	パンフレットから「つどいブログ」「Twitter」で発信
12	7月17日	八尾・西山本 貸しオフィス・スペース	・ Will Labo	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
13	7月22日	iPad・パソコン・スマホの訪問指導	・ NPO 法人 かがやき SITA	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
14	7月31日	「マスクツリープロジェクト」収集結果とそのお礼	・ World Seed ・ ダブルスマイルサンタ ・ Pure Hugs	「Twitter」 「Instagram」で発信
15	8月12日	報道ランナー「戦後75年～かつての軍事施設は今～」	・ 「河内の戦争遺跡を語る会」 ・ 関西テレビ	番組アカウントの投稿からつどい Facebook、Twitter で発信
16	8月26日	てぬぐいデザインコンテスト	・ きんたい廃校博物館 きんぱく	公式アカウントの投稿からつどいブログ、Facebook、Twitter で発信
17	9月3日	環境市民活動助成金セミナー「NPOの資金調達まるわかりセミナー」	・ NPO 法人エコネット近畿 ・ NPO 法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」 ・ NPO 法人地域の未来・志援センター ・ 一般社団法人セブン・イレブン記念財団(協賛)	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
18	9月6日	久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびとーまれ！」	・ 久宝寺小学校区まちづくり協議会 ・ 久宝寺地区福祉委員会	原本から「つどいブログ」「Twitter」 「Facebook」で発信
19	10月23日	2020 八尾の河内音頭	・ 八尾市・八尾本場かわち音頭連盟・八尾河内音頭全国発信隊	ポスターから「つどいブログ」で発信
20	11月1日	活動記録	・ 個人(相談No.2020-086)で八尾市内のごみ拾いをごみ拾いアプリ「ピリカ」を利用して行っている方	本人の投稿から引用リツイートで発信
21	11月4日			
22	11月12日	おまつりフェア	・ 八尾ねこの会 さくら	イベントチラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
23	11月15日	いきいき八尾環境フェスティバル	・ 環境アニメイティッドやお	運営団体(学生団体はちのじ)の投稿から引用リツイートで発信
24	11月26日	プラスチックごみゼロシンポジウム	・ 主催：関西広域連合 ・ 問合せ先：NPO 法人エコネット近畿	イベントチラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信

No.	日付	内容	団体名	発信ツール
25	12月4日	ダブルスマイルサンタ サンタをお家に呼ぼう！	・ World Seed	イベントチラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
26	12月6日	クリスマス点灯式	・ 八尾ロータリークラブ	現地での取材から「つどいブログ」「Twitter」で発信
27	12月6日	堤町2・3町会 まちねこ活動【第2回 猫の譲渡会】	・ 堤町2・3町会	現地での取材から「つどいブログ」「Twitter」で発信
28	12月8日	をんらいんをかしわら	・ をかしわらマルシェ	団体 Twitter 記事から「Twitter」リツイート
29	12月11日	30周年記念公演劇 あの頃のできごと~あれから30年 YICと共に~	・ 公益財団法人 八尾市国際交流センター	イベントチラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
30	1月22日	人権啓発映画上映会、公益財団法人八尾市国際交流センター設立30周年記念公演中止のお知らせ	・ 八尾市人権啓発推進協議会 ・ 公益財団法人 八尾市国際交流センター	イベントチラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
31	1月29日	八尾廃校 SATODUKURI BASE が開始したクラウドファンディングとボランティア募集について	・ 八尾廃校 SATODUKURI BASE	公式サイトから「つどいブログ」「Twitter」で発信
32	2月4日	2月19日人権啓発映画上映会、公益財団法人 八尾市国際交流センター設立30周年記念公演中止のお知らせ	・ 八尾市人権文化ふれあい部 人権政策課 ・ 公益財団法人 八尾市国際交流センター	各チラシから「つどいブログ」で再発信
33	2月19日	いきいき八尾環境フェスティバル第2弾 ヤオビアの泉~素晴らしき八尾の知識~	・ 学生団体 はちのじ	団体の投稿を「Twitter」でリツイート
34	2月25日	春休み 子どもキャンプ	・ 特定非営利活動法人 ナック	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
35	3月11日	「ハッピーアースデイ大阪2021」の開催	・ ハッピーアースデイ大阪実行委員会	団体公式 Web から「つどいブログ」「Twitter」で発信
36	3月12日	はぐくみホーム	・ キーアセット・大阪オフィス	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
37	3月24日	「森のがっこう いきものみっけ隊」メンバー募集	・ アクトランド八尾	チラシから「つどいブログ」「Twitter」で発信
38	3月24日	小学生ドッジボールチーム『高安ブラザーズ』創部20周年祝賀会	・ 高安ドッジボールクラブ	メッセージャーから「つどいブログ」「Twitter」で発信

○ 助成金情報の発信（発信ツールの主は、ブログにて実施）

No.	月	名称	応募元
1	4月	令和2年度 子ども・若者の居場所づくり提案事業助成金	八尾市 こども未来部 青少年課
2		2020年度 八尾市子どもの居場所づくり事業補助金	八尾市 こども未来部 こども政策課
3	5月	フィザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援～	特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド フィザープログラム事務局
4		ソニー音楽財団 子ども音楽基金	公益財団法人 ソニー音楽財団
5		Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs	パナソニック株式会社(国内応募元：特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド)
6	6月	J-coin 基金	公益財団法人 パブリックリソース財団
7		JT SDGs 貢献プロジェクト	公益社団法人日本フィランソロピー協会内 JT SDGs 貢献プロジェクト外部事務局
8	8月	重い病気を抱える子供の学び支援活動助成	公益財団法人 ベネッセ子ども基金
9		第16回 TOTO 水環境基金	TOTO グループ
10		2020年 スミセイ コミュニティスポーツ推進プログラム	公益財団法人 住友生命健康財団
11	9月	子ども夢基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構
12		2021年度 環境市民活動助成	一般社団法人 セブン・イレブン記念財団
13		こくみん共済coop(全労災)地域貢献助成2020年	こくみん共済coop本部 地域貢献助成事務局
14		日本郵便 年賀寄付金助成	日本郵政グループ
15		2021年度公募助成	JR 西日本あんしん社会財団
16	10月	2021年度 地球環境基金助成金	独立行政法人 環境再生保全機構地球環境基金部
17	11月	住まいとコミュニティづくり活動助成(地域・コミュニティ活動助成、住まい活動助成)	一般社団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団
18	12月	中央共同募金会 「赤い羽根福祉基金」	社会福祉法人 中央共同募金会
19	1月	人権 NPO 協働助成金	一般財団法人 大阪府人権協会
20	2月	NPO 等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業	大阪府
21		地域福祉を支援する「わかば基金」	社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

○ 八尾市子どもサイト「あつまれ八尾っ子！！」イベントカレンダー

5月掲載分	1件	6月掲載分	1件	7月掲載分	中止	8月掲載分	中止
9月掲載分	中止	10月掲載分	2件	11月掲載分	0件	12月掲載分	2件
1月掲載分	1件	2月掲載分	1件	3月掲載分	0件	4月掲載分	1件

○ ホームページ訪問者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	1044	1469	1653	1500	1701	1751	2154	2302	1673	2092	2336	1989	21664
2019年度	1985	2436	2219	1919	2510	2694	2116	1955	1801	2629	2070	1811	26145
2018年度	1564	2273	1741	2360	2113	2034	1817	2068	1504	1513	1901	2724	23612

○ ブログ訪問者数・閲覧数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問者数	2020年度	6735	8156	7006	6526	9086	6465	7798	7023	6367	6116	4216	6223	81717
	2019年度	6738	9000	6596	8228	8118	7913	7982	8538	4354	7670	6959	7687	89783
	2018年度	5308	5907	7007	6007	6909	5814	5796	5852	6629	6456	5931	7069	74685
閲覧数	2020年度	12165	13784	12734	11652	16739	10204	15280	12900	10972	11404	8291	10711	146836
	2019年度	16400	21093	13898	16458	16062	15205	16897	17279	16080	14490	14089	14430	192381
	2018年度	18440	17194	21113	16194	24304	19655	14419	18717	18714	17416	14073	16039	216278

○ 取材

- 取材：3件(SNS から2件を情報発信)
- 取材先：八尾子ども商店街・をかしわらマルシェ・ヤオビアの泉(いきいき八尾環境フェスティバル)

○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する情報発信

● 新型コロナウイルス感染症関連の支援情報の発信(4月)

- 自由民主党がWebで発信している各対象者(個人・個人事業主・フリーランス・中小企業・大企業)への給付金や支援基金等の緊急支援策について、「つどい」独自で図解したものと、自由民主党Webのリンクと合わせて「つどいブログ」にて発信。
- Yahoo Japanが発信している①新型コロナウイルスの最新情報、②症状・対策、③生活・お金の3つに分けて情報提供されているWebを「つどいブログ」にて発信。

● 登録団体へ活動自粛要請文の情報発信(4月)

- 委託元のコミュニティ政策推進課から「緊急事態宣言発出に伴う自粛要請について」の要請文についてE-mailを登録している「つどい登録団体」に、メール送信の代行依頼がありメール送信を行った(不達を除く148団体が送信完了)。

● 「大阪モデル」達成状況をライトアップにて情報発信(5月)

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、休業要請などの解除基準いわゆる「大阪モデル」の達成状況を示すライトアップを、通天閣が主体的に協力されたことから、「つどい」の館前でも自主的に実施(5月13日から)。
- また、つどいのFace book、Instagramにて広報を行った。

②公益的活動の支援業務

【ア】活動主体が必要としている情報の提供

No	日付	情報提供及び概要	情報提供の内容
1	6月23日	FM ちゃお「エコラブオントーク」に出演し、2000年代の八尾市内の協働における環境活動について情報提供	環境活動は多様な方々の協力なしでは環境改善にはつながらない。そのために、パートナーシップによる協働での環境活動が求められる。 八尾市内では、多様な活動主体・個人をつなげ、協働による環境活動を実施してきた「環境アニメイティッドやお」における環境活動と中間支援活動について、立上げからの経過を知りたく、加えて音声で記録に残したいと依頼があった。 「つどい業務責任者」が当時事務局として携わっていたことから、設立経過から各種活動について情報提供を行った。 (昨年度の相談対応で、紹介者が出演する予定が1ヵ月遅れたため、急遽、「つどい業務責任者」が出演を行った。)
2	7月29日	6月実施の「マスクツリープロジェクトご協力をお願い」情報支援を機会に、マスクを寄贈した団体(100枚)情報及びフェアトレードについて、募集元へ情報提供。	先の協力をお願いの際に、寄贈先のひとつに「つどい」でもお預かりすることで協力した。 郵送にてマスク100枚の寄贈があった。 寄贈された団体を調べ、フェアトレード推進を目的としたNGOといった団体情報及び「フェアトレード」とは何かといった概要情報を「マスクツリープロジェクト」の募集団体へ寄贈したマスクと共に情報提供した。
3	8月12日	ボランティア・プロボノとつながる「NPO活動のマッチングサイト」について情報提供	「環境アニメイティッドやお」の情報紙「河内の風」の記事を作成する人材が不在で、来年度以降の発行が窮地に立っていることを、SNS(Face book)にて情報収集をした。 「NPO・中間支援に関するスタッフ学習会」で、プロボノに関する活動事例を収集したことから、再度、調べ、記事作成をされる方を探すために、下記の団体やマッチングサイトを情報提供した。 ・ 認定NPO法人サービスgrant ・ サイト名: activo(株式会社 activoが運営) ・ サイト名: Share Works(有志のボランティアで運営) ・ NPO法人二枚目の名刺 また、記事を書く際にシリーズで作成してもらう方を探す、または、FM ちゃおで収録した際に出演した方やその方の取組みにスポットを当てた記事の作成(インタビュー形式)を行うことをご提案した。FM ちゃおでの出演による音声情報を記事形式にて情報を二次利用する考え方もあわせて提供した。
4	8月20日	「山本コミセン管内ラウンドテーブル」にて、「新やお改革プラン」実施計画について情報提供及び「公益活動における当事者(第一の顧客)と協力者(第二の顧客)の考え方」について情報提供	・ 「新やお改革プラン」の実施計画等について情報共有し、当プランの趣旨などをお伝えした。また見直しする項目の中で「校区まちづくり交付金とその他地域活動対象補助金のあり方見直し」「校区まちづくり交付金のあり方見直し」など、市民活動・八尾市公共施設に関係することも含め、見直す内容について情報共有した。 ・ これまでの地域活動・市民活動は当事者(第一の顧客)から資金面で徴収がしにくいことから、行政からの補助金・交付金で運営してきた。しかし、見直しが検討されていることで時間・人員・資金面等の協力を第三者(第二の顧客)から得なければ、成り立たなくなることを情報共有した。

No	日付	情報提供及び概要	情報提供の内容
5	9月29日	<p>「コミュニティ推進スタッフ会議」にて、出張所訪問及び地域活動団体への情報収集から地域分権に関する特徴的な点を情報提供。</p>	<p>大正出張所・曙川出張所以外の出張所等への地域拠点施設訪問及び地域活動団体の情報収集から、地域分権から見て感じたことを、下記の「特徴」と「全体をみて感じたこと」にまとめて情報提供をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特徴(5点) <ul style="list-style-type: none"> ① まち協の良さを活かしていない(存在意義・担い手づくり) ② まち協の良さを活かしている面と活かしていない面がある ③ まち協の良さが活かされている・認識している ④ 担い手が居ない中での模索(人口減少に向けた取り組み) ⑤ つどいとまち協や地域活動団体とのつながりについて(印象と認識) ● 全体をみて感じたこと <ul style="list-style-type: none"> ・ 何か新しく動き出そうとしているまち協はなかったこと。下記に例示を掲載。 ・ 例示) 行事開催型(イベント)から事業開催型(実践)。交付金事業以外の資金調達づくりの挑戦(助成金・実費徴収)。まち協の地名度アップ広報、地域活動未経験者の参画づくり(人材発掘)。 ・ 工場の社長など経営者が地域活動に携わりだし、これまでの自己主張型の地域活動団体の代表ではない経営感覚でコーディネートをされている小学校区があることを収集できた。 ・ 地区自治振興委員が取り組まれている地域活動も収集したが、八尾市自治振興委員会が把握できておらず情報共有が出来ていないこともわかった。 ・ 行政は地域性があるから地域分権が進みにくい状況だという認識を持っている印象があった。 ・ 地域では「そのままよい」と「変わろうとしている」という各小学校区で意識の差を感じた。地域分権を独自に進めようとしているまち協があることを再確認した(例:志紀・久宝寺)。 ・ 地域の代表者は地域分権を認識していても役員全員まで浸透はしていないので、そのようなまち協には「つどい」としてはラウンドテーブル(まちづくり井戸端会議)でお話に行きたいと考えている。 ・ そのようなまち協に何か表現や活動方法として市民活動団体が協力できるところは情報提供や紹介を行い、協働につなげ課題解決の支援につなげたい。
6	10月15日	<p>「山本コミセン管内ラウンドテーブル」にて、【久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびと一まれ!」】について情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ つどいが作成した【やお市民活動ハンドブック2014「つなぐ」】を参考に作成されたこと、久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区福祉委員会の関係性や団体・部会を俯瞰的にフローチャートとしてまとめていることをお伝えした。 ・ フローチャートにまとめられたのは「つどい」がまち協と福祉委員会の関係性についてアドバイスをいただいたとお礼のご挨拶もあった。 ・ 久宝寺小学校区外ではあまり冊子が配付されていないことから、八尾市自治振興委員会幹事会で他地区の方に参考資料として冊子を配付してもらった。 ・ 今回は地区自治振興委員長でない校区まちづくり協議会会長には配布を行った。 ・ 各会長からの反応は当冊子をモデルに各まち協で同様の冊子を作成し地域活動に参加してもらおう機会を提供できることに気付かれたとご意見をいただいた。 ・ 当冊子がモデルとしてあるので冊子の作成がしやすい点と、「第三期 わがまち推進計画」において計画に盛り込みやすいと意見をいただいた。

【イ】相談

○ 相談記録（相談場所を「つどい」で実施した専門家相談及び「つどい」スタッフによる一般相談）

No.	日付	ターゲット	相談内容	活動主体	相談内容
1	4月2日		紹介・提案	事業者	番組(番組名: 歴史秘話ヒストリア)内で資料を使いたいので了承を得る為に「高安城を探る会」とお繋ぎしてほしい。
2	4月4日	●	レクチャー	地域活動団体	コロナウイルス感染拡大防止により従来の対面形式による総会を開催することができなくなり、書面にて表決を諮り決議しようと考えている。書面表決について、どのように行えば良いかアドバイスがほしい。
3	4月8日		レクチャー	市民活動団体	八尾市市民活動基金事業助成金事業に応募したい。つながりコースでの応募を検討したい。
4	4月8日		紹介・提案	市民活動団体	高安薪能を15年以上行ってきたが、企画段階から携わる主催者の高齢化により実働で活動するスタッフがいなくなった。若者など活動団体を紹介してほしい。
5	4月10日	●	レクチャー	市民活動団体	八尾市市民活動支援基金事業助成金事業に応募したいと考えている。自分たちが考えている申請内容が募集内容に沿うかアドバイスが欲しい。
6	4月17日		紹介・提案	行政	府警内での国際活動等の研修や情報を提供する部署として、「ベトナム八尾流交流会」の活動が知りたいので教えてほしい。
7	4月22日		紹介・提案	事業者	市民一丸で医療従事者を応援するプロジェクトとして、医療用防具が足りなくなる不安や医療従事者の心身の負担を助きたい。その為のひとつとして医療用防具を市民が作り、感謝の気持ちを届けたいので、お力を貸してもらえたらと思い相談に来た。
8	4月23日		紹介・提案	行政	国民健康保険運営協議会の委員を探している。元保健士の経験からご意見をいただきたいと考えている。つどい登録団体の方などでいらっしゃれば紹介してほしい。
9	5月9日		紹介・提案	市民活動団体	友人から八尾にベトナムタウンがあるのか聞かれ、知らなかったのを教えてほしい。また、ベトナムと八尾の関係も教えてほしい。詳しい方や活動されている団体があればご紹介してほしい。また、八尾のこともあわせて知りたいので歴史上の人物や有名人も知っていたら教えてほしい。
10	5月13日		紹介・提案	教育機関	小学校の授業で八尾空港と関連した平和学習を行いたい。「河内の戦争遺跡を語る会」の代表者を紹介してほしい。
11	5月17日	●	紹介・提案	市民活動団体	つどいに館外掲示している「住まいのまちなみコンクール」の募集ポスターを見て応募したい。情報提供してほしい。
12	5月17日	●	紹介・提案	事業者	商店街の感染症対策で大阪府からの支援事業が発表された。八尾市内にもこの事業に取り組みたい商店街があれば紹介してほしい。
13	5月21日		紹介・提案	事業者	行政の業務として作業をしたいが、事務局としてオフィスレベルでつどいの会議室を使用することは可能か教えてほしい。また他に使用可能な場があれば教えてほしい。
14	5月22日	●	紹介・提案	地域活動団体	地域分権の推進にあたり所属団体のあり方など考え直したい。山本小学校区での地域分権の推進支援やコーディネートを「つどい」が行い前進し始めたのを見て、所属団体のあり方や会計などについてアドバイスがほしい。
15	5月28日		紹介・提案	市民活動団体	NPO(市民活動団体)へのインターンシップ(大学1年生-2年生)を受け入れてくれる団体を探している。オンラインで説明を行いたいので紹介してほしい。
16	5月28日	●	紹介・提案	市民活動団体	知り合いが弁護士の方に相談したいが行政相談では予約待ちですぐに対応してもらえない。「NPO法人 て・と・て」を相談先として紹介したいので紹介してほしい。
17	5月29日		紹介・提案	市民	「つどいWeb」を見て手話サークルについて知れると思い電話した。手話サークルの連絡先を教えてほしい。
18	5月29日	●	紹介・提案	市民活動団体	アベノマスクが各世帯に届いても使わずに廃棄されることが予想されるので不要な方のアベノマスクを集めて必要な方や施設にお渡しする仕組みをつくりたいと考えている。つどいでも不要になったアベノマスクを回収するボックスなどを置くことは出来ないか。
19	5月31日		紹介・提案	市民	つどいのWebで「子どもと遊びのねっとわーく八尾(通称: 森のプレパーク)」の団体紹介ページを見た。どこかでキャンプができる場所を探しているので紹介してほしい。

No.	日付	タイプ	相談内容	活動主体	相談内容
20	6月3日		紹介・提案	行政	八尾市地域包括支援センターに市民の方から絵画の講師をしたいという相談がきた。そういった相談に関して「つどい」からなにか情報提供してほしい。
21	6月3日		レクチャー	市民活動団体	産後ケアの相談窓口を2年前から八尾市保健センターで行っている(母子手帳を渡す際の面談や訪問ケアを含む)。近年は相談件数も多く保健センターに助産師がいることが定着し、産後ケアセンターのように育児習得の場をつくりたい。個人負担・個人責任にならぬよう運営を行うために法人格を取得したいのでNPO法人格について教えてほしい。
22	6月3日	●	紹介・提案	地域活動団体	来月7月に開催する地域ふれあい喫茶に「出張なんでも相談」を行いたいので出向いてくれる方を紹介してほしい。
23	6月16日		紹介・提案	事業者	取材したいので「河内の戦争遺跡を語る会」の連絡先を教えてください。
24	6月21日	●	レクチャー	地域活動団体	町会の会計決算が合わないのを助けてほしい。
25	6月24日	●	レクチャー	事業者	刑務所から出所された方の応援(生活・就労面での社会復帰)を既に行っているが、それを専門に行う団体を作り、NPO法人格の取得を考えている。手続き等を教えてほしい。
26	6月26日	●	紹介・提案	市民活動団体	「いきいき八尾環境フェスティバル」の企画として動画制作を行いたい。動画制作に関するノウハウを持った人を紹介してほしい。
27	6月26日		紹介・提案	行政	プリズムホールの改修工事に合わせて、1階と2階の間取りを変更したいと考えている。2階には芸術文化活動を行う団体が交流できるスペースを確保したいと考えている。交流するための空間づくりで市民活動団体のつながりづくりを行っている観点からアドバイスがほしい。
28	6月28日		紹介・提案	市民	緑化運動のようなボランティアに興味があり問い合わせた。そういった活動がないかと「つどい」について教えてほしい。
29	7月1日		紹介・提案	市民活動団体	行事を開催するにあたってちらしの配架先を探している。配架先があれば教えてください。また、市役所1階の「市民活動コーナー」への配架も出来るのか教えてください。
30	7月2日	●	紹介・提案	地域活動団体	山本小学校区まちづくり協議会及び山本地区福祉委員会及び山本地区自治振興委員会の共同作成で、今年度の交付金や補助金で行う行事については自粛することをポスターで作成したい。掲載する内容を考えてもらえないか。また、ポスターをデザインする方がいれば紹介してほしい。
31	7月2日	●	紹介・提案	地域活動団体	福祉だより(情報誌)を作成するにあたり片面を福祉だより(相談者の団体発行物)、もう片面を山本小学校区まち協の情報紙にして同時発行のかわら版にしたい。読んでもらいやすい情報紙にするためアドバイスがほしい。
32	7月5日	●	紹介・提案	市民活動団体	以前から八尾地区自治振興委員会に加盟している町会と地域ねこの支援を協働しているが、新会長に代わられたので連絡をとりたい。方法があれば教えてください。
33	7月9日	●	紹介・提案	事業者	「やお聞き書きの会」に聞き書きの依頼を検討しているので代表の方を紹介してほしい。
34	7月11日	●	レクチャー	市民	卒業論文の作成にあたり中間支援をテーマに取り組みたい。どのように研究を行えばよいか教えてください。
35	7月11日	●	紹介・提案	市民活動団体	「八尾道才(やおどうさい)」という八尾発祥の絵カルタを探している。遊び方がわかれば八尾に復活させたいと考えているので、知っていそうな団体を教えてください。
36	7月15日	●	紹介・提案	市民活動団体	「声から広がるネットタイム」の番組出演団体を探している。最近「つどい」に登録した団体を紹介してほしい。
37	7月15日	●	紹介・提案	地域活動団体	東山本小学校区まちづくり協議会主催の「ラウンドテーブル」の議事録を作成していた団体が辞めることになり、新しく担ってくれる方を探しているのを紹介してほしい。
38	7月16日		紹介・提案	市民	八尾に特化したPR動画をYoutube配信したい。配信を通じて道徳や経営、お金のリテラシー等、人としての生き方なども配信したい。八尾の活動や現状を教えてください。

No.	日付	タ イ ピ ー	相 談 内 容	活 動 主 体	相 談 内 容
39	7月16日		紹介・提案	市民	「人権を考えるひとりひとりの会」主催の「前川喜平講演会」は4月開催の延期になったが友人がいつ開催するのか知りたいこと、日が合えば参加したいと言っていたので教えてほしい。
40	7月16日		紹介・提案	事業者	「河内の戦争遺跡を語る会」に取材をしたいので代表者の連絡先を教えてほしい。
41	7月17日		紹介・提案	市民活動団体	9月から会長に就任することになったこと、7月31日にプリズムホールでナイトセミナーを開催するにあたって繋がりが無いので館長等関係者を紹介してほしい。
42	7月19日	●	紹介・提案	市民活動団体	8月10日に開催する「前川喜平講演会」をプリズムホールで行う際に、三密を避けるために座席等を配慮するのにどのように対応すれば良いかアドバイスがほしい。
43	7月19日	●	紹介・提案	市民活動団体	まち協の支援に関するあり方検討会議の報告書を読みながら、なぜ見直しが入っているのかを含めてこの自粛中に閉じこもりがちな高齢者・情報弱者に情報格差がなくなるように支援をしたい。行政や地域活動団体とどのように協働出来るかアドバイスがほしい。
44	7月29日	●	紹介・提案	市民	「八尾河内音頭まつり」が中止になり、本来の開催日にネット上で河内音頭を流したいと考えている。檜 大悟氏(音頭取り・河内銀友会)ともつながっていきこうと考えている。その他にも河内音頭に詳しい方や歌い手・弾き手、河内音頭を踊って出演してくれる方がいれば紹介してほしい。
45	7月30日		紹介・提案	市民	これから仲間と市民活動を行うにあたって、NPO法人について知りたいので教えてほしい。
46	7月30日		紹介・提案	市民	韓国の団体から節水をテーマにして、SDGsを用いた連携をしたいと提案があった。しかし、SDGsや環境をテーマにしている団体との連携の仕方や国境を越えた連携の仕方も含め、実際にある具体例等がわからない。アドバイスがあれば教えてほしい。
47	8月7日		紹介・提案	事業者	会社の移転先として空き家を活用しようと思っている。また、1階を地域貢献として居場所づくりに提供したいと考えているのでアドバイスをいただきたい。
48	8月20日		紹介・提案	市民活動団体	知り合いが離婚を考えていて相談先を探している。以前「出張専門家相談会」をつどい主催で開催していたことを思い出したので専門家の方をご紹介していただきたい。
49	8月21日		紹介・提案	その他	放課後デイサービスとして子どもたちにプログラミングを教えたいと考えている。そこで講師として年代が近く一緒にプログラミングを学べる若者を探している。心当たりがあれば紹介してほしい。
50	8月21日	●	紹介・提案	市民活動団体	図書の表紙建てをする面展材の木材の棧(1.5センチ程度の角材)を調達したいので、龍華小学校の北側の上西木材を紹介してほしい。
51	8月26日		紹介・提案	市民	八尾で音楽サークルを探している。つどい登録団体「ミドルノート軽音楽会」の活動内容を教えてほしい。
52	8月27日		紹介・提案	市民活動団体	「PRAIMAL」に出演してくれる人を探しているので紹介してほしい。
53	9月2日		紹介・提案	市民	「山本駅前9条の会」とつながりたいので連絡先を教えてほしい。
54	9月3日	●	紹介・提案	市民活動団体	買物公園(山城町1丁目第一公園)でこれまでフリーマーケットを開催してきた。今回は手作りや芸術家の出展も考えていて、フリーマーケットではない方法で行事開催を考えているのでアドバイスがほしい。
55	9月3日		紹介・提案	市民活動団体	「いきいき八尾環境フェスティバル」が会場での開催を取りやめ、動画配信をすることになった。八尾のことを配信するにあたって素材を探したいのでアドバイスが欲しい。
56	9月6日		紹介・提案	事業者	おもちゃの修理をしたいのだが、修理できる方を紹介してほしい。
57	9月9日		レクチャー	市民	災害地に行き施術による被災者へのセラピーを災害支援として行って来た。最近は災害地へ一緒に行きたいという声が出ていること、介護施設での健康体操教室も社会貢献活動も行っていることもあり個人ではなく団体として活動を始めようと考えている。NPO法人格の取得も考えていきたいのでNPO法人設立について手続きについて等教えてほしい。

No.	日付	リ ピ ー タ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
58	9月10日		紹介・ 提案	事業者	「河内の戦争遺跡を語る会」に取材したいので電話番号を教えてほしい。
59	9月16日		紹介・ 提案	事業者	目的を見つけて社会貢献として市民活動を始めたい。団体を紹介してほしい。
60	9月16日		紹介・ 提案	市民活 動団体	月に1回子どもたちが宿題をする際のサポート役を依頼したいので、「学生団体 はちのじ」を紹介してほしい。
61	9月19日		紹介・ 提案	市民	家の近所で野良猫が子猫を産みおとした。どこか引き取ってくれるところを紹介してほしい。
62	9月23日		紹介・ 提案	教育機 関	「八尾和太鼓サークル 楽鼓」に11月の公演で和太鼓出演依頼をしたいので紹介してほしい。
63	9月23日		紹介・ 提案	市民	SDGsの勉強会を行う際に「ふらここ」をお借りしたいので方法やアドバイスがほしい。
64	9月24日		紹介・ 提案	市民	「高安ドッチボールクラブ」を自分の子どもに勧めたいと考えているので、代表の連絡先を教えてほしい。
65	10月3日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	タオルを使って体操を行う団体があると知った。知っていれば紹介してほしい。
66	10月3日		紹介・ 提案	市民	八尾市の国勢調査員に携わる際に国勢調査票などの封入物が5枚ある。今回から5枚目の封入物(政府作成分)に八尾市独自で国勢調査を担当する各調査員の氏名と携帯番号を記入した上で、訪問するように説明があった。調査員の同意も得ず一方的に個人情報を入力することはプライバシーに反すると考えている。是正し皆さんにもこの事を公表したいのでアドバイスが欲しい。
67	10月5日		紹介・ 提案	市民	知り合いに八尾市近隣に住むベトナム人の方が日曜日に日本語を教えてくれる場所を探しているので「にほんごネットワーク YAO」を紹介してほしい。
68	10月9日		紹介・ 提案	教育機 関	「河内の戦争遺跡を語る会」に授業で講演をお願いしたくインターネット検索で「つどいホームページ」で連絡先を紹介してくれることがわかりご連絡した。紹介してほしい。
69	10月11日		紹介・ 提案	市民	日本語教室で講師をしていきたいと考えている。日本語教室をされている団体があれば紹介してほしい。
70	10月14日		紹介・ 提案	市民	合唱を行う団体に参加したいと考えている。合唱活動をしている団体について教えてほしい。
71	10月14日		紹介・ 提案	行政	預かり保育を依頼するために、「つなぐ」冊子で見つけた「健康子育て支援団体 thanks to child」を紹介してほしい。
72	10月14日		レク チャー	市民	卒業研究で、八尾市内のまちづくりに関する人材ネットワークをテーマに研究をしていて、お聞きしたいことがあるのでヒアリングを行いたい。
73	10月15日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	児童デイの事業で送迎の運転手を探している。また、子どもたちと元気に遊んでくれる方も探しているので紹介してほしい。
74	10月16日	●	紹介・ 提案	地域活 動団体	堤町2・3町会主催で「猫の里親譲渡会」を行ったが地域ねこをもっと提供したい。小学校区全域に広報も行いたいのでアドバイスがほしい。
75	10月16日		紹介・ 提案	市民	器楽で発表を行う等の活動をしている団体があれば紹介してほしい。
76	10月21日		紹介・ 提案	事業者	「astral box」に連絡を取りたいので紹介してほしい。
77	10月21日		紹介・ 提案	事業者	市役所本館の植栽の水やりをされる方(アルバイト)を探している。市民活動団体を含めて該当する人がいれば紹介してほしい。
78	10月22日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	「いきいき八尾環境フェスティバル」の対面開催をやめてオンライン配信に切り替えて開催する。VTR出演(「仮題:八尾ふしぎ発見!」のストーリーテラー)をお願いしたい。
79	10月23日		紹介・ 提案	市民	来年3月14日に「買物公園」で開催する「ここやおフェスタ」に歌と演奏で出演する。自前の音響機器より高スペックなものを借りたいので所有する方がいれば紹介してほしい。
80	10月23日	●	紹介・ 提案	市民	来年3月14日に「買物公園」で開催する「ここやおフェスタ」に歌と演奏で出演する。その際に音響スタッフがおらず、操作の仕方がわからないのでスタッフとして携わり機材操作してもらえれば紹介してほしい。

No.	日付	タ イ ピ ー	相談 内容	活動 主体	相談内容
81	10月23日	●	紹介・ 提案	地域活 動団体	来年10月に設立70周年記念行事を開催する際の出演者、団体を探しているので紹介してほしい。
82	10月24日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	「末広町の短足じじい」さんから、寄付と応援の手紙を頂いた。匿名のためどなたかわからない。ご存知なら教えてほしい。また、お礼を言いたいのでFMちやおの放送で流してもらおうようにつなげてもらえないか。
83	10月31日		紹介・ 提案	市民	八尾木公園で砂場に落ちている動物のフンやたばこの吸い殻、ガラス片等を朝の散歩・トレーニング時に片付けている。子ども達が安全に安心して遊べる場づくりに貢献したく、活動を始めたのでアドバイスが欲しい。また、NPO法人の立ち上げも視野に入れて考えている。
84	11月4日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	ウエルネスダーツを行う場所を探しているので紹介してほしい。
85	11月4日		紹介・ 提案	市民	混声合唱をしている団体を紹介してほしい。
86	11月4日		紹介・ 提案	市民	ごみ拾いの清掃活動をしている団体があれば教えてほしい。
87	11月4日		紹介・ 提案	地域活 動団体	町会加入者の減少、加入者の高齢化により会長・副会長の担い手がいない。どうすればよいかアドバイスが欲しい。
88	11月5日		紹介・ 提案	市民	「成法せせらぎの小径」(八尾商工会議所から成法中学校へ向かった水路と歩道)を散歩する時に、水路にごみが落ちていて、水路や遊歩道のごみ拾いをしているが、個人では限界があり、みんなで出来る仕組みや協力が無いだろうか。アドバイスが欲しい。
89	11月5日		紹介・ 提案	市民	大阪府の取組で「ビュースポットおおさか」というものがある。知り合いと応募したいがチラシや応募用紙がどこにあるかわからないので、教えてほしい。
90	11月11日		紹介・ 提案	市民	自宅近所で子猫を保護したが、自宅では飼うことが出来ないのので引き取っていただける方はいないだろうか。
91	11月12日		紹介・ 提案	事業者	つどい登録団体「見張り番・八尾」の代表者を紹介してほしい。
92	11月12日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	毎週セミナーを早朝に開催しているが、アクセスが良く現在よりも広い会場を探している。紹介してほしい。
93	11月13日	●	紹介・ 提案	公共施 設	読み聞かせを行っている団体を紹介してほしい。
94	11月13日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	バザーを開催するのに活動場所を探してるので紹介してほしい。
95	11月18日		紹介・ 提案	市民活 動団体	「八尾・心理カウンセリングの会」を紹介してほしい。
96	11月18日		紹介・ 提案	事業者	カウンセリングの関係で活動されている団体にWeb関係の新しい取り組みを紹介したいので、つどい登録団体「八尾・心理カウンセリングの会」を紹介してほしい。
97	11月19日		紹介・ 提案	事業者	婚活パーティー・交流会をしていきたいので何か考えや発想など教えてほしい。また、ほかの取り組み事例もあれば教えてほしい。
98	11月19日	●	紹介・ 提案	市民活 動団体	相談者が携わる団体の人事(代表者の後継者及び進退も含む)について、団体内で話が進まないの話を聞いてコーディネートしてほしい。
99	11月19日		紹介・ 提案	行政	点訳をされている団体があれば教えてほしい。また、その様な団体についてはどこに尋ねたら良いか教えてほしい。
100	11月21日	●	レク チャー	市民活 動団体	団体の役員改選が来年度に任期満了につき実施する。役員の内候補が出てきている。どのように役員改選で選任(案)を考えれば良いか進め方も含めてアドバイスしてほしい。
101	11月27日		紹介・ 提案	市民活 動団体	高安の神立地区の里山保全活動をしていて、ササを草刈り機で刈っているが、充電式のため30分で草刈り機の充電が切れる。エンジン式の草刈り機を買う資金が無いのでどうしたらよいか困っている。アドバイスがほしい。
102	11月27日		紹介・ 提案	市民	つどい登録団体を廃止したが個人としては何か人のお役に立ちたいと考えている。どこかご紹介いただけませんか。
103	12月3日		紹介・ 提案	行政	生活保護の方が飼っていた猫を引き取ってもらえる方を紹介してほしい。

No.	日付	ターゲット	相談内容	活動主体	相談内容
104	12月3日		レクチャー	市民	卒業論文で行き詰まっている。文化人類学から研究をしているが、社会学といった異なった専門分野も取り入れながら、より広く多様な視点から物事を横断的にとらえて考察する研究方法がわからない。「つどい」の様に各活動分野を横断的にとらえる視点を教えてほしい。
105	12月11日	●	レクチャー	市民活動団体	NPO 法人の解散手続きを教えてほしい。
106	12月12日		紹介・提案	市民活動団体	読み聞かせを行っている団体を紹介してほしい。
107	12月17日	●	紹介・提案	市民活動団体	アリオで絵画コンクールの展示会を開催する際に、歯科講座も開催して来られた方に歯ブラシを提供したい。歯ブラシ製造会社で提供いただける事業者を紹介してほしい。
108	12月23日	●	レクチャー	市民活動団体	団体の会則を変更しようと考えている。変更案を見ていただき、アドバイスが欲しい。
109	12月23日		レクチャー	市民活動団体	NPO 法人の役員変更・所在地変更・名称変更の手続きについて教えてほしい。
110	12月23日		紹介・提案	事業者	箱を作っている会社があれば紹介してほしい。
111	1月6日		紹介・提案	行政	来年度の各校区まちづくり協議会での研修の講師をしていただける方を探している。つどい登録団体で Zoom 等でのコミュニケーションやホームページの作成やその他 SNS を用いた活動をされている団体を紹介してほしい。
112	1月8日	●	紹介・提案	事業者	以前紹介して「高安城を探る会」ともう一度つながりたいので再度紹介してほしい。
113	1月8日	●	紹介・提案	地域活動団体	八尾市自治振興委員会と八尾市赤十字奉仕団が「発足 70 周年記念式典」の冊子を作成する。「学生団体 はちのじ」に冊子のデザイン・レイアウト案を依頼したいので紹介してほしい。
114	1月10日	●	紹介・提案	地域活動団体	SDGs を学習する機会を企画したい。東京都・神奈川県で SDGs に取り組む団体があるが近郊でも取り組んでいる個人や団体があれば紹介してほしい。
115	1月14日		紹介・提案	市民	日本語を教えてくれる団体や施設があれば紹介してほしい。
116	1月17日		紹介・提案	市民	友人が「八老劇団」に興味があり、問合せしたいので紹介してほしい。
117	1月20日	●	紹介・提案	市民活動団体	「つどいの広場」設置・運営事業者の募集があり、現在行っている実施場所では応募要件に満たないので物件を探している。どなたか紹介できる不動産屋はいないか。
118	1月22日		紹介・提案	市民	八尾市内で開催している猫の譲渡会等の地域猫の取り組みをインターネット上で発信したいと考えている。現在の地域活動も含めて、どのようにつなげていき、考えていることの実現に向けた動きをすればよいかかわからないのでアドバイスがほしい。
119	1月24日		レクチャー	市民活動団体	「八尾市つどいの広場事業」の運営事業者募集が始まり、応募を考えている。どのような申請準備が必要かアドバイスがほしい。また、「つどい」への登録についても考えているので教えてほしい。
120	1月30日		紹介・提案	市民	手話のサークルか講座に参加したいと思っているので、つどい HP にある「手話サークル みどり」を紹介してほしい。
121	2月3日	●	レクチャー	市民活動団体	NPO 法人の設立をしたいので、手続き等を教えていただきたい。
122	2月10日		紹介・提案	市民活動団体	「特定非営利活動法人 歴史体験サポートセンター楽古」に出演依頼をしたいので連絡先を教えてほしい。
123	2月12日	●	紹介・提案	地域活動団体	毎年「さくらまつり」の開催時に「河内木綿藍染保存会」の村西工房も協力して開館してもらっているが、今年はコロナ禍のため開催が危ぶまれるので貴団体と調整したい。どなたに連絡をすればいいか教えてほしい。
124	2月19日		紹介・提案	市民	春休みの期間を活用してボランティアをしようと考えているのでどこか紹介してほしい。
125	2月20日		紹介・提案	市民	「八尾の戦争遺跡を語る会」の大西氏を紹介してほしい。

No.	日付	タイプ	相談内容	活動主体	相談内容
126	2月24日	●	紹介・提案	地域活動団体	青色防犯パトロールで使用(リース)していた自動車が高齢者向けの対応機能が備わっていないため、リースする自動車を変更しようと考えている。自動車リースを行っている事業者を紹介してほしい。
127	2月26日		紹介・提案	市民活動団体	FM ちゃおの番組で市民活動団体の紹介を行っており、前回出演された団体の提案と紹介で出演をお願いしたい。つどいが今回依頼する方とつながりが深い事を知ったのでご紹介してほしい。
128	3月4日		紹介・提案	市民	市民活動・ボランティアをしたいと考えているのでどこか紹介してほしい。
129	3月12日		紹介・提案	行政	市民の方がご高齢で乗らなくなった電動自転車をどなたかに使ってほしいと相談があった。市民活動団体で自転車の再使用する団体があれば紹介してほしい。
130	3月17日		紹介・提案	市民	「竹淵ミニバスケットボールクラブ」の連絡先を教えてください。
131	3月18日		紹介・提案	行政	子どもの健全育成分野に該当する団体に助成金関係の情報を送りたいので、ここ最近で登録された該当団体の情報を提供してほしい。
132	3月18日	●	紹介・提案	市民活動団体	八尾市の行政施策と公民協働の推進により、今後の市民活動団体と行政の協働においてどのような変化があるか教えてください。ご意見もいただきたい。
133	3月18日	●	レクチャー	市民活動団体	NPO 法人の解散手続きを教えてください。
134	3月19日		紹介・提案	市民	幼児の居場所をつくりたい。どのようにして活動を始めればよいか教えてください。
135	3月24日		紹介・提案	市民	アマチュア無線の資格を持っているので「八尾市アマチュア無線非常通信連絡会」を紹介してほしい。

○ 相談内容・相談者の活動主体・相談分類

月別小計	相談内容				活動主体									相談分類		
	紹介・提案	レクチャー	助成金対応	その他	市民	市民活動団体	地域活動団体	行政	公共施設	事業者	教育機関	その他	設立相談	運営相談	NPO法人以外の相談	
4月	5	3	0	0	0	3	1	2	0	2	0	0	0	0	8	
5月	11	0	0	0	2	5	1	0	0	2	1	0	0	0	11	
6月	6	3	0	0	1	2	2	2	0	2	0	0	2	0	7	
7月	17	1	0	0	6	7	3	0	0	2	0	0	1	0	17	
8月	6	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	6	
9月	11	1	0	0	5	3	0	0	0	3	1	0	1	0	11	
10月	18	1	0	0	9	4	2	1	0	2	1	0	0	0	19	
11月	18	1	0	0	6	7	1	1	1	3	0	0	0	0	19	
12月	4	4	0	0	1	5	0	1	0	1	0	0	0	2	6	
1月	9	1	0	0	4	2	2	1	0	1	0	0	0	0	10	
2月	6	1	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	6	
3月	7	1	0	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	1	7	
小計①	118	15	2	0	41	46	14	10	1	19	3	1	5	3	127	
合計②	135				135									135		
①/② (%)	86.7	11.9	1.5	0.0	30.4	34.1	10.4	7.4	0.7	14.1	2.2	0.7	3.7	2.2	94.1	

※ 相談件数は、135件。四捨五入のため、合計のパーセントが100%にならない場合がある。

【ウ】スキルアップの支援

○ 各種開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	1月22日	第42回つどい井戸端会議 ・ Zoomを活用したオンライン開催を実施。 ・ 参加者の内5名中2名がZoomを始めて利用するという現状であったが、主催者が電話で操作支援を行い、全員で教え合いながらリモートにチャレンジする機会提供につながった。 ・ スキルアップ支援の新しい形式として実施。	オンライン開催(Zoom)	5名
合計				5名

③公益的活動への参加支援業務

○ 体験会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	6月20日(土)	菜の花の種と茎を分ける体験&茎の堆肥化	中間の森	25名
2	9月12日(土)	廃食油キャンドルづくり・綿繰り体験	中環の森	18名
合計				43名

※ 10月24日(土)午前中も、中環の森での「つどい体験会」共催者による美園小学校での菜の花の植え替え体験を実施。

④活動主体間の連携・協力促進業務(コーディネート、マッチング)

【ア】交流会の開催

○ 交流会開催記録

No.	日付	開催内容	開催場所	人数
1	6月17日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	10名
2	8月20日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	17名
3	10月15日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	10名
4	10月23日	第39回 つどい井戸端会議	センター「つどい」	4名
5	11月27日	第40回 つどい井戸端会議	センター「つどい」	3名
6	12月17日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	16名
7	12月25日	第41回 つどい井戸端会議	センター「つどい」	4名
8	1月22日	第42回 つどい井戸端会議	オンライン開催 (Zoom)	5名
9	2月18日	山本コミセンラウンドテーブル	山本出張所	11名
10	2月26日	第43回 つどい井戸端会議	オンライン開催 (Zoom)	3名
11	3月4日	「つどい地域猫井戸端会議」	センター「つどい」	11名
12	3月26日	第44回 つどい井戸端会議	センター「つどい」と オンライン開催 (Zoom)	7名
年間開催回数：12回				101名

【イ】連携・協力のコーディネート

○ 相談対応後の経過(マッチングの有無)計測【別表のエクセルシートを参照】

・ 【マッチング数：31件】 / 【相談件数：135件】

(1) 市民

No.	相談No.	日付	ターゲット	内容	対応・マッチング内容
1	2020-034	7月11日	●	卒業論文の作成にあたり、中間支援をテーマに取り組みたい。どのように研究を行えばいいか教えてほしい。	中間支援施設として、これまでの「つどい」の市民活動センターとしての役割と地域分権推進の役割をお話し、卒業論文の作成にあたり、必要になることを説明し、これから既存研究と研究テーマづくりを早急に行うため「つどい」に出入りし、他のスタッフも交えて取り組むことをご提案した。 後日相談者から無事論文が完成し、口頭試問も終わったとご報告いただいた。また、完成した論文はつどいが活用出来るように資料提供いただいた。
2	2020-061	9月19日		家の近所で野良猫が子猫を産みおとした。どこか引き取ってくれるところを紹介してほしい。(※つどいwebからの問合せ)	つどい登録団体「八尾ねこの会 さくら」を紹介した。 後日、相談者から猫は翌日にはいなくなっていて問題自体が解決されたことと、紹介団体にはご自身で事の経緯をお伝えされ、これからの相談先としてつながったことをご報告いただいた。
3	2020-069	10月11日		日本語教室で講師をしていきたいと考えている。日本語教室をされている団体があれば、紹介してほしい。	つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」を紹介した。 相談者から後日、紹介者とお会いし、ボランティアとして携わることになったとご報告いただいた。
4	2020-079	10月23日		来年3月14日に「買物公園」で開催する「ここやおフェスタ」に歌と演奏で出演する。自前の音響機器より高スペックなものを借りたいので所有する方がいれば紹介してほしい。	つどい委託運営団体である「特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク」が必要な団体へ貸出支援を行っているので、貸出することになった。
5	2020-090	11月11日		自宅近所で子猫を保護したが、自宅では飼うことが出来ないで引き取っていただけの方はいないだろうか。	対応者の自宅で引き取れるかどうか相談することになった。 同日、対応者が引き取ることに決まり、後日受け渡しを行った。

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
6	2020-104	12月3日		卒業論文で行き詰まっている。文化人類学から研究をしているが、社会学と違った異なった専門分野も取り入れながら、より広く多様な視点から物事を横断的にとらえて考察する研究方法がわからない。 「つどい」の様に各活動分野を横断的にとらえる視点を教えてほしい。	論文を読んだ感想をお伝えした後、来館していただいて一緒に考察を行った。 後日、相談者から無事論文が完成し口頭試問も終わったとご報告いただいた。
7	2020-120	1月30日		手話サークルか講座に参加したいと思っているので、つどいHPにある「手話サークル みどり」を紹介してほしい。 (※つどいwebからの問合せ)	開示可能情報をPDFで提供した。また、「サポートやお」に登録されているボランティアサークル一覧表も合わせて情報提供を行った。 相談者から紹介した手話サークルの中で、つどい登録団体「手話サークル みどり」の代表をされている方の別団体の見学に行くことが決まったとご報告があった。

※ No.1.7 : 相談日の翌月以降にマッチングした相談。

(2) 市民活動団体

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2020-009	5月9日		友人に説明するために、ベトナムと八尾の関係について教えてほしい。また詳しい方や活動されている団体があればご紹介してほしい。八尾のこともあわせて知りたいので歴史上の人物や有名人も知っていたら教えてほしい。	各分野に関連した情報誌を各1冊ずつ提供。また八尾の歴史上の人物や有名人については、雑誌「Wao Yao!」を貸出した。つどい登録団体「ベトナム八尾流交流会」をご紹介した。 後日、相談者から紹介いただいた団体とつながり、八尾のベトナムに関する情報をいただいたとご報告いただいた。
2	2020-016	5月28日	●	知り合いが弁護士の方に相談したいが、行政相談では予約待ちですぐに対応してもらえない。「特定非営利活動法人 て・と・て」をご相談先として紹介したいので連絡先を教えてください。	つどい登録団体「特定非営利活動法人 て・と・て」の連絡先をお伝えし、貴法人には弁護士の方も所属していることをお伝えした。 後日、相談者から知り合いの方と紹介先で連絡を取り、相談対応して頂いたとご報告いただいた。
3	2020-018	5月29日	●	アベノマスクが各世帯に届いても使わずに廃棄されることが予想されるので不要な方のアベノマスクを集めて必要な方や施設にお渡しする仕組みをつくりたいと考えている。つどいでも不要になったアベノマスクを回収するボックスなどを置くことは出来ないか。	回収ボックスの設置は出来ると回答し、過去にも類似した事例があることをお伝えした。回収ボックス設置先の紹介展示やアベノマスクの提供先も展示することをご提案した。また、マスクの回収ボックスは本庁や出張所でも別で設置されていることをお聞きしていたので、相談者にお伝えした。 後日、相談者が回収ボックスをご持参され、つどい館前のバス停付近に設置し、つどいの SNS で広報を行った。
4	2020-029	7月1日		行事を開催するのに、ちらしの配架先を探している。配架先があれば教えてほしい。また、市役所1階の「市民活動コーナー」への配架も出来るのか教えてほしい。	相談者が後援名義を八尾市文化国際課と八尾市教育委員会に申請したことがあることから、こちらから文化国際課に問合せを行い、市役所本館1階「市民活動コーナー」の配架については、文化国際課からコミュニティ政策推進課へ問い合わせをもらうことをご提案した。また、「つどい定期便」で配架している施設等のリストを情報提供し、公共施設や子どもがあつまる場所などに情報提供することをご提案した。 相談者からおつなぎした課に相談され、図書館と市役所1階の市民活動コーナーに配架出来るようになったとご報告いただいた。

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
5	2020-032	7月5日	●	以前から八尾地区自治振興委員会に加盟している町会と地域ねこの支援を協働しているが、新会長に代わられたので連絡をとりたい。方法があれば教えてほしい。	町会加入者に配布されている「八尾市詳細図」から、前年度までの会長をお伝えした。また、新しい町会長に趣旨をもう一度ご説明し、ご理解を示してほしいのが目的だったので、相談者が事前に「つどい」でつながったお2人に連絡をするようにアドバイスを行った。 後日、相談者から新しい町会長とつながることが出来たとご報告いただいた。
6	2020-036	7月15日	●	「声から広がるネットタイム」の番組(FM ちゃお)の出演団体を探している。最近「つどい」に登録した団体を紹介してほしい。	つどい登録団体「八尾市ウエルネスダーツ協会」と「アクトランド YAO ヒメボタルを守り育てる会」を紹介した。 相談者から、紹介団体の番組出演が実現したことをご報告いただいた。
7	2020-041	7月17日		9月から会長に就任することになり、また7月31日にプリズムホールでナイトセミナーを開催するにあたり、プリズムホールなどつながりがないので、館長等関係者をご紹介していただきたい。	館長をご紹介し、貴団体の目的・活動等を情報交流した。また、周辺にある LINOAS の管理会社の社員である方ともお会い出来たのでご紹介した。相談者は「みせるばやお」とも最近つながりが出来たことだったので、そちらも訪問し館長とも交流を深めるためにご紹介を行った。 相談日当日に紹介者と対面でご紹介する事が出来、7/31のナイトセミナーも滞りなく進めることが出来たとご報告いただいた。
8	2020-048	8月20日		知り合いが離婚を考えていて相談先を探している。以前「出張専門家相談会」をつどい主催で開催していたことを思い出したので専門家の方をご紹介していただきたい。	「出張専門家相談会」はつどい登録団体「特定非営利活動法人 て・と・て」と協働で開催してきたことをお伝えし、「特定非営利活動法人 て・と・て」の担当者をご紹介した。 後日、知り合いの方が直接紹介者と、お会いになりアドバイスをもらえたことを相談者からご報告いただいた。
9	2020-060	9月16日		月に1回子どもたちが宿題をする際のサポート役を依頼したいため、つどい登録団体である「学生団体 はちのじ」を紹介してほしい。	つどいのアルバイトスタッフである垣本が「学生団体 はちのじ」に所属して活動しているため、垣本がメッセージで引き続き相談者と連絡を取り合うこととなった。 メッセージでやり取りをした結果、11月6日(金)に相談者の元を「はちおこし みつばち隊」が訪問することとなった。
10	2020-078	10月22日	●	「いきいき八尾環境フェスティバル」の対面開催をやめて、オンライン配信に切り替えて開催する。VTR 出演(「仮題：八尾ふしぎ発見!」のストーリーテラー)をお願いしたい。	相談者はつどい業務責任者がかつて携わっていた団体事務局であり、八尾の環境や歴史を概要として把握していることから依頼された。 快諾し、携わることになった。

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
11	2020-082	10月24日	●	「末広町の短足じじい」さんから、寄付と応援の手紙を頂いた。匿名のためどなたかわからない。ご存知なら教えてほしい。また、お礼を言いたいののでFM ちゃおの放送で流してもらうようにつなげてもらえないか。	「末広町の短足じじい」さんはどなたか特定できず、存じ上げないと対応。FM ちゃおの放送でお礼のメッセージを流すことについては、予めつどいからFM ちゃおに相談し、相談者と紹介者の連絡先を双方にお伝えした。 同日、FM ちゃおに連絡し本件についてその旨をお伝えし、快諾いただいた。後日相談者と直接連絡を取り合い、音取りの日程や放送回数等、調整していくとのこと。
12	2020-084	11月4日	●	ウエルネスダーツを行う場所を探しているので紹介してほしい。	「つどい」の委託団体として、光専寺のガレージをカフェや印刷機利用などでお借りしているので、現地までお越しいただき紹介した。 キャパシティも確保できそうなので、相談者の団体が支部の立上げ、支部長の就任ができ次第、改めて使用を依頼されることになった。
13	2020-098	11月19日	●	相談者が携わる団体の人事(代表者の後継者及び進退も含む)について、団体内で話が進まないのので、話を聴いてコーディネートしていただけないか。	別日に相談者の携わる団体の代表者とお会いする機会をつくっていたので、じっくり代表の話を聴きながら、進退や今後の人事、団体のあり方などを確認し、詰めていくことになった。進退及び人事や団体のあり方について話を聴き、詰めることが出来たので来月の運営会議で退任の表明と今後の人事について発表してもらうことになった。 12月の運営会議にて来年度の総会をもって代表を降りる旨を正式に発表したと相談者から報告があった。
14	2020-107	12月17日	●	アリオで絵画コンクールの展示会を開催する際に、歯科講座も開催して来られた方に歯ブラシを提供したい。歯ブラシ製造会社で提供いただける事業者を紹介してほしい。	ラピス株式会社を紹介し、つどいから担当者へ打診した。2018年度つどい共催の「まちとつながりとハッピーの会」で歯ブラシを協賛いただき、2019年度には「はあとふる病院」の相談により、工場見学先として紹介し、同伴したことがある。 後日、対応者から紹介者に改めてお聞きしたところ、歯ブラシを100本程提供頂けることになった。
15	2020-122	2月10日		つどい登録団体の「特定非営利活動法人 歴史体験サポートセンター楽古」に出演依頼をしたいので連絡先を教えてください。	代表者の電話番号と電子メールが開示可能だったのでお伝えした。 相談者から紹介団体出演が決まったことをご報告があった。

※ No.9. 13. 14. 15 : 相談日の翌月以降にマッチングした相談。

(3) 地域活動団体

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2020-002	4月4日		コロナウイルス感染拡大防止により従来の対面形式による総会を開催することができなくなり、書面にて表決を諮り決議をしようと考えている。書面表決について、どのように行えばよいか、アドバイスがほしい。	相談者の校区まちづくり協議会の規約に書面表決について、規定がないか確認すること、異議のある方には書面表決書を提出してもらうことを考えておられたため、「提出のない方はご賛同いただいたとして扱わせていただきます。」という一文を挿入すること上記2つのアドバイスをを行った。また、対応者が正会員になっている NPO 法人にて「書面表決書」で表決をしているので、ひな形として情報提供した。 後日、書面による決議が完了したと報告をいただいた。
2	2020-014	5月22日	●	地域分権の推進にあたり、所属団体のあり方など考えなおしたい。山本小学校区での地域分権の推進支援やコーディネートを「つどい」が行い、前進し始めたのを見てきて、所属団体のあり方や会計などについてアドバイスをいただきたい。	貴団体の総会議案書(案)をお預かりし、会計状況が分かる「6月幹事会資料」を提供いただいて、6つの会計の内、通称「本体会計」と「運営会計」を見て、本体会計は執行の流れをまとめ、運営会計は損益計算で見たブロックパズルでまとめて相談者に資料提供した。 平成16(2004)年に監査が入り、手数料で託している分は収益事業であるとなり、以後、託された団体には収益事業として均等割を納付してもらうことになったと、先日、大阪市民共済生活協同組合本部から回答があった。相談者としては、申告者自ら申告を行うことで税理士への役務費の削減に集中することで約8万7千円の費用削減を行うことになった。
3	2020-022	6月3日	●	来月7月に開催する地域ふれあい喫茶に「出張なんでも相談」を行いたいのので、出向いてくれる方を紹介してほしい。	「つどい登録団体」である「特定非営利活動法人て・と・て」をご紹介した。 相談者から紹介者に連絡を取り、7/16のふれあい喫茶に専門家相談員が計3人来ていただけるとのご報告いただいた。
4	2020-024	6月21日	●	町会の会計決算が合わないのを助けてほしい。	これまでの会計方法や現状を教えていただいた上で、相談者と原因追及を行った。その後、会計・決算方法について提案を行った 相談者は対応者の提案通り執行され、決算が完了できた。

※ No.2 : 相談日の翌月以降にマッチングした相談。

(4) 行政

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2020-131	3月18日		子どもの健全育成分野に該当する団体に助成金関係の情報を送りたいので、ここ最近で登録された該当団体の情報を提供してほしい。	相談者からは新規登録団体の情報のみでの依頼だったが、11月末につどいで実施した「登録団体情報の一斉更新」にあたり、87団体の廃止申請と活動分野や団体連絡先の変更等が多くあったので、該当する全団体の最新情報のリストを作成しメールにて情報提供を行った。

※ No.1 : 相談日の翌月以降にマッチングした相談。

(5) 事業者

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2020-001	4月2日		番組内で資料を使いたいのので了承を得るために「高安城を探る会」とおつなげしてほしい。 (※つどい web からの問合せ)	担当者に「つどい」から相談者の旨をお伝えし了承を得た後、おつなげした。 同日、紹介者から番組で資料提供することになったと報告をいただいた。 番組名：歴史秘話ヒストリア
2	2020-040	7月16日		「つどい登録団体」の「河内の戦争遺跡を語る会」に取材をしたいので、代表者の連絡先を教えてください。 (※つどい web からの問合せ)	代表者の連絡先をお伝えした。 相談者から紹介者に取材することが出来取材内容を8/12に放送することが決まったことをご報告いただいた。番組名：報道ランナー
3	2020-058	9月10日		「河内の戦争遺跡を語る会」に取材したいので電話番号を教えてください。 (※つどい web からの問合せ)	代表者名と電話番号をお伝えした。 紹介者から下記内容で放送が決定したことをご報告いただいた。番組名：ほんわかテレビ
4	2020-077	10月21日		市役所本館の植栽の水やりをされる方(アルバイト)を探している。市民活動団体を含めて該当する人がいれば紹介してほしい。	水やりしてほしい箇所は、つどい登録団体「ガーデニングはなな」が土日に定期的に手入れをしていたので相談者に紹介した。 相談者から紹介した団体の中から3名の方に担っていただく事になったとご報告いただいた。

※ No.3：相談日の翌月以降にマッチングした相談。

(6) 昨年度相談対応後にマッチングした相談

● 市民

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2019-029	5月24日		実家の売却を考えている。丈夫な家なので、シェアハウス等で購入された方に活用してもらいたいと思っている。空家活用をされている方と直接つながり、やりとりしたい。	株式会社 SORASIA をご紹介して、お電話でおつなげし、現地でお会いすることになった。 後日、実家の買い手が見つかり、空き家を活用することが実現したと報告いただいた。

● 地域活動団体

No.	相談 No.	日付	タ リ ピ ー	内容	対応・マッチング内容
1	2019-169	3月13日		町会を立ち上げて3年になるが、早くも町会加入率が低下している。町会長になり、町会運営を楽に効率良く携われるようにするために、スマホの町会運営アプリを導入したいが有料サービスのため、町会費で賄えず困っている。賛同する方を増やしたり、資金調達が出来るようにするにはどうすればよいかアドバイスが欲しい。	町会費を値上げし資金調達ができないか、町会運営アプリを導入してまで町会運営をすべきか、町会の存在意義やあり方を町会加入者中心に、会って話をすべきではないかとご提案した。また、NPO 法人や共益性・公益性について資料にて情報提供を行い、共感しあえる仲間づくりの場として「つどい井戸端会議」があること、仲間を作り公益活動(市民活動)として、「つどい」に登録され、モデル事業として町会支援を行うことを合わせて提案した。 後日、相談者から「つどい」に相談したと町会運営アプリを提供している(一社)shienにお伝えしたら、そこまで熱心に活用をお考えなら「結ネット」をしばらく無料で提供してもらえるようにご配慮いただけることになり、配信をスタートさせることが出来たとご報告いただいた。

○ 「久宝寺寺内町で婚活」の事例紹介と顔合わせ (12月)

- ・ 相談者から婚活パーティ・交流会の取り組み事例を紹介してほしいと相談があった。
- ・ コミュニティ推進スタッフを通じて「久宝寺寺内町で婚活」を主催している「久宝寺小学校区まちづくり協議会」「久宝寺寺内町で婚活」の甲斐実行委員長と久宝寺出張所でお会いし、顔合わせを行った。
- ・ 「久宝寺寺内町で婚活」の開催はコロナ禍で何度か延期をしており、甲斐実行委員長としては、参加したかった方々に何か提供したいという想いはお持ちだった。これまでに結婚までマッチングされている事例もお聞きし、久宝寺小学校区や八尾市内に住まいを持ってほしいという目的をお持ちだった。
- ・ 相談者も婚活を通じて「結婚して幸せ、楽しい」を実感する方をひとりでも増やし広めていきたい想いと、婚活で結婚し八尾市内で住まいを持ってほしい思いをお持ちだった。
- ・ どちらも八尾のため地域のためという思いや目的は同じであったので、顔合わせを行い連携出来るところから一緒に活動が出来ないか、話し合いを行った。
- ・ コロナ禍で校区まちづくり協議会事業としては、自粛要請により開催が今後も難しいことから、有志で連携して出来るところから協働出来ないか提案を行ったが、連携開始までには至らなかった(来年6月に「久宝寺寺内町で婚活」を開催できないか、来年3月には話し合いを行うので、それまで経過を見ることにした)。

⑤活動主体による公益的活動の活発化に向けての取り組みの検討

【ア】活動主体からの意見収集

- ・ 「つどい支援井戸端会議」は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館期間対応により昨年度3月～今年度9月まで中止。
- ・ 10月から再開し、オンラインでの開催も取り入れながら毎月第四金曜日に開催【上掲】。

○ 「コミュニティ推進スタッフ会議」にてコミュニティ推進スタッフから得た質問を収集と意見交換(9/29)

- ・ 出張所訪問及び地域活動団体への情報収集から地域分権に関する特徴的な点を情報提供した際に質問を収集した。
- ・ 質問:つどいの目標は?→コミュニティ推進スタッフが地域分権の推進を先導するように「つどい」も地域分権の推進の一役を担っている。目標はコミュニティ推進スタッフと同じ方向性や目標があると考えている。そのために協働や情報共有が促進できるよう会議に出席した。
- ・ 質問:地域活動団体の中では校区まちづくり交付金など資金面については使い切る認識が強い役員も多いが、必要でない場合は資金を使い切らなくてよいという認識を持つ役員もいるのでご理解いただきたい。→訪問時に収集した情報から感じたことをお伝えしたので、使い切らなくてよいという認識を持つ役員が居ることを質問時に情報提供してもらい、こちらも更なる情報収集になり助かった。
- ・ 質問:地域活動団体とテーマ型の市民活動団体とで、共に活動が出来る・協働が出来るための共通認識や共通点はどのように導き出しているのか教えて欲しい。→「市民活動支援基金事業助成金事業」で「八尾ねこの会 さくら」が「猫の里親譲渡会」を参加無料で当初は開催していたが、広報を行うことで猫好きな市民とつながり新しい対象者を開拓することができた。「猫の里親譲渡会」への開催趣旨に共感・賛同される対象者に開催の価値を認めてくれる方に参加協力金を募ることで「猫の里親譲渡会」が対象者からの寄附で事業が成り立つことに成功した。この活動を取り入れて堤町二・三町会が試験的に地域活動として「猫の里親譲渡会」を実施された。「つどい」は堤町二・三町会長に開催を促した経緯もあるが、これは地域の猫好きな市民・住民が地域活動に参画する機会提供として、また市民活動団体も地域活動団体も交付金以外の資金調達方法の行事として、お互いが共通認識・共通点を見出していける活動であることを確信出来た。今後は「つどい」として、校区まちづくり協議会など地域活動団体に情報提供をして行きたいと考えている。

【イ】他都市における先進的な取組事例の収集・分析

○ 「中間支援・NPOに関するスタッフ学習会」の開催(5月～8月)。

- ・ 5月よりスタッフの学習会を開催した。中間支援・NPOに関する素養を身に付けるために他都市の取り組み事例を日本NPOセンター等が発行する冊子を基に輪読し学習を行った。
- ・ 5～8月の3カ月継続して計10回実施した。

○ 八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議における他都市の取組に関する収集(8月)

- ・ プリズムホール(八尾市文化会館)は近隣に「東大阪市文化創造館」が開設されたことで、市民輩出の芸術文化の推進がこれからの特色になることを仮定して、門真市「ルミエーホール」の指定管理者になっている「特定非営利活動法人トイボックス」の取組を収集した。また、八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議に選出された市民委員と情報共有を行った。
- ・ 情報共有を行う際に、芸術文化やそれに関連する情報・取組を市民委員から収集した。主には久宝寺緑地第3駐車場に隣接するコンビニ(ローソン久宝寺緑地店)内に遊具コーナーや飲食コーナーが併設され芸術文化の情報発信が出来るのではないかと情報を得る。またSDGsの取組みが広がりを見せ、阪急電鉄・阪神電車が「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の10周年記念を契機に国・自治体・企業・市民活動団体と連携してSDGsの啓発メッセージを発信する「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」の運行を始めたことを情報提供してもらった。文化芸術とSDGsと関連することをご提案いただいた。

【ウ】公益的活動の活発化に向けての取り組みの検討

○ 地域分権推進・活性化の助言:八尾市自治振興委員会の相談から対応(5月)

- ・ 5月に地域分権の推進へ向けて八尾市自治振興委員会から組織と事業のあり方を見直したいと相談があり、会計の執行状況から流れと損益計算の視点でまとめた資料提供を行った。
- ・ 提供するにあたり、非収益事業であれば税金の均等割の減免もしくは納付不要になる提案と、あわせて専門家への納税に関する申告書の作成費用の削減提案を行った。

- 地域分権の推進につなげるための八尾市の市民会議・審議会の参画した内容を共有（5月）
 - ・ 「八尾市芸術文化推進プラン市民会議」において、昨年度参画した内容を次期市民委員に引き継いだ(芸術文化の用語の定義・中間支援のあり方をプランに取り組みを提案など)。
 - ・ 八尾市の各種市民会議・審議会の情報を収集し、八尾市政の状況把握と地域分権の推進につなげるよう情報共有を行った。
- 「校区まちづくり協議会」と「地区福祉委員会」における構成団体に関する比較（5月）
 - ・ 昨年度に出張所といった地域拠点施設訪問時に収集した「校区まちづくり協議会」の構成状況と、昨年度に八尾市社会福祉協議会から貸与した「地区福祉委員会」の構成状況について、図解し比較する資料の作成を始めた。
- 市民活動団体の若年層の有志の協力による清掃活動を通じたつながりづくり及び提案の実施（5月）
 - ・ ボウフラの繁殖の可能性がある「つどい」裏の水路清掃を5年以上振りに実施した。水路清掃の実施は市民活動団体で活躍する若年層の有志に協力いただき、各団体の枠を超えた交流を図ることが出来た。
 - ・ 清掃中には水路床下に消火器等の不法投棄やヘドロが堆積していることがわかった。
 - ・ 清掃活動がきっかけとなり、八尾市に相談及び提案を行い水路の改修工事につながった。改修工事では大量の不法投棄及び50センチ以上堆積したヘドロの撤去を行い、環境改善につながった。
- 「ホームページを活用した環境活動の情報提供」の実施準備（7月）
 - ・ これまでFM ちゃお「情報プラザやお」に「つどい」が出演した放送分から、八尾市内で環境活動に取り組む個人・団体・施設がゲスト出演した際にお話しされた内容の中から成功事例等を要約し掲載・放送分を音声で聞けるようにする。これから環境活動を始める方や興味を持ってもらえるように実施する。今回は、過去の放送分を再度ヒアリングし、成功事例等の要約文の作成と打合せを7月22日に実施した。つどい登録団体「環境アニメイティッドやお」との協働で実施する。
- 八尾市の市民会議・審議会等の情報収集から今後の公益的活動の活発化に向けた検討準備（7月）
 - ・ 「八尾市環境総合計画改定 市民ワークショップ」「八尾市文化芸術振興プラン推進市民会議」「八尾市自治振興委員会」「新やお改革プラン及び実施計画」等の会議資料の収集・会議への参加を通じて、トータルな視点で見た公益的活動の活発化に向けて検討する準備を行った(以下は、収集及び会議への参加を記載)。
 - 「八尾市環境総合計画改定市民ワークショップ八尾市で持続可能なまちの未来を考える」(7月)
 - ・ 取材を兼ねて全2回に渡り参加。第1回目はZoomによるビデオ通話アプリにて開催。環境面・経済面・社会面で統合して活動する環境省の「第5次環境基本計画」やSDGsや地域循環共生圏の考えを踏まえ、ワークショップでは地域分権の推進と中間支援の視点も加えて「理想的な八尾のすがた」として自然環境面での生態系や里山保全、生活環境面で廃棄物のあり方について意見を発表・提案を行った。
 - ・ 第2回目は八尾市役所本館8階第2委員会室で対面にて開催。持続可能な地域づくりに向けた戦略と行動について、前回の提案を踏まえて「ひと・もの・自然と共生する人づくり」を提案した。グループワークで同じ人づくり・人材育成を提案した参加者と環境活動や環境を取り入れたライフスタイル・人格形成・情操教育などを話し合い、将来の環境像について共通認識を深め活性化につながった。
 - 「第1回八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議」(7月)
 - ・ 委員の選出に伴い、今後の第2次八尾市芸術文化振興プラン策定へ向けたスケジュール等を収集し芸術文化活動の活性化に向けた意見等を検討する。

○ 【久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびと一まれ！」】作成を通じた「地域分権のあり方意見交換」(9月)

- ・ 中島氏(久宝寺小学校区まちづくり協議会会計・久宝寺地区福祉委員会総務部会長)と太田氏(久宝寺小学校区まちづくり協議会専門部会・久宝寺地区福祉委員会総務部会)に【久宝寺地区地域活動まるわかりガイド「このゆびと一まれ！」】の作成について情報収集を通じて、下記のような意見交換も行った。
- ・ 地域活動に携わりながら地域分権のあり方について疑問を持ちながら活動をされておられた。地区福祉委員会の場合はこのままでは久宝寺地区福祉委員会の組織が継続できないことを危惧され、専門の部会を作つて来られた。また、久宝寺小学校区まちづくり協議会でも専門部会を作り、中年層や若年層とのつながりをつくる部会も出来た。
- ・ 総務省が地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための地方自治制度のひとつである「地方分権改革」を進めている中、国からは具体的な地方分権が提示されず、また、国から降ろされた地方公共団体からも地方分権のあり方が示されず地域に降りてきている。その中で各小学校区・地区で自治のあり方を見出さないといけない。
- ・ しかし、八尾市の場合は国から具体的な地方分権の提示がない中で、八尾市も示すことが無い中で、校区まちづくり協議会のあり方については地域活動団体からすると別の地域活動の予算が降りてきたという言う認識しかなかったように感じる。
- ・ また、校区まちづくり協議会と地区福祉委員会の役割分担も八尾市では示されていなかったため、久宝寺小学校区まちづくり協議会と久宝寺地区福祉委員会の位置づけを「このゆびと一まれ！」の作成を始めた1年間に「つどい」と話をした時にアドバイスや考えも含めて、久宝寺小学校区まちづくり協議会の構成員に久宝寺地区福祉委員会が構成していることを図解化し、各協議会・委員会に構成する団体や部会等の組織を「このゆびと一まれ！」で示すことが出来た。これを示すことが出来たことで、俯瞰・網羅できる情報を冒頭に入れることが出来、「このゆびと一まれ！」を作成することが出来た。
- ・ 他の小学校区・他地区との交流が乏しいので、PTA 役員の時に他の小学校へ参加したことで違う視点や考え方を養うことができた。小学校区・地区以外の地域活動を知ること、さらなる地域活動の充実・推進になることを知った。そのためにも「このゆびと一まれ！」を他の小学校区や他の地区に情報発信をしていくことが大切だと認識した。
- ・ 校区まちづくり協議会は町会加入世帯以外も構成員である本来のあり方を、仕組化したい考えをお聞きした。町会加入世帯以外も構成員として、また行事・事業に参画できるように個人のボランティアとして登録できる仕組みを創り、参画できる仕組みにしたい考えをお聞きした。そして、現在活動している方が年齢に関係なくご仕事や体調などプライベートも含めて参加・参画が出来ない時に登録している方に助けてもらい、次の担い手づくりにも貢献できる、小学校区・地区全体の地域活動への参画できる仕組みづくりを将来展望として掲げていた。また地域活動にこれまで参加・参画できなくなった方も、個人ボランティアで登録していることで気軽に参加出来たり時には活動を託したりして、みんなで活動や活動する人を育む自治の思い・考えをお聞きした。

○ 八尾市第6次総合計画施策 No.30「地域のまちづくり支援・市民活動の促進」の指標検討案の提案(9月)

- ・ 委託元から提案依頼があり、施策 No. 30 に記載されている「めざす暮らしの姿」の3.について各項目(現状・課題・基本方針)に照し合せ、それに沿う過去の相談業務マッチング等から表にまとめて整理した。
- ・ 指標検討案の提案にあたり、課題として下記にまとめた。
 - ★ 該当する件数が一桁になる可能性があるのが現状である。右肩上がりになるかはわからない。
 - ★ 地域行事や校区集会所への支援・協働が現状であり、これが果たして地域の活性化や活動資源の促進であるのかを定義付けする必要があること。
 - ★ 2016(平成28)年度をサンプルに指標化できる案件を作成したが、地域の活性化や活動資源の促進につながるには複数年の時間と経過を要しているため、熟成期間を経たカウントになり複数年で進行管理が必要であること。
- ・ 指標検討案の指標タイトルは【「つどい」が紹介しマッチング(協働)を機会に地域活性化や活動資源の促進につながった件数】として提案を行った。

○ 八尾市審議会・市民委員の情報共有：八尾市芸術文化振興プラン推進市民会議(8月・2月)

● 第1回の開催内容共有及び第2回開催へ向けた準備(意見・考えの共有)

- ・ 7月に開催された第1回の開催資料の共有と11月開催へ向けた意見についての提案を、つどい業務責任者と選出した市民委員で話し合った。
- ・ 相談業務(No.2020-027)で八尾市文化国際課からプリズムホールの改修工事及びフロアの一部機能変更及び間取り変更の相談について、同様に共有し今後の八尾市の方針等を鑑みて意見交換が出来る準備を兼ねて話し合った。
- ・ 八尾市文化会館(プリズムホール)の指定管理業務の見直し、八尾市文化会館の改修内容の見直しなどが「新やお改革プラン実行計画」に掲載していることなど、八尾市の動きを共有した。また「新やお改革プラン実行計画」の趣旨も説明した。

● 第3回の開催内容共有及び第4回開催へ向けた準備(意見・考えの共有)

- ・ 3月に開催される第4回に向けた意見交換のテーマ「八尾市内の芸術文化活動の連携について【資料2】」の提案内容を「第2次八尾市芸術文化振興プラン総括書【案】【資料1】」を基に、つどい業務責任者と選出した市民委員で中間支援の立場から話し合った。
- ・ 主に、【資料2】に記載されている「芸術文化活動の有機的なネットワーク」について下記の提案を行うことにした。
 - ① 各セクター(市民&市民活動団体、行政&学校、民間(事業者)、地域)で整理した上で、団体や場所を再度洗い出すことを提案する。事前にセクターごとで洗い出した際「芸術文化活動の有機的なネットワーク」の中に校区まちづくり協議会や「つどい」の様な「中間支援組織及び中間支援機能がある組織または施設」、活動場所として廃校や寺社仏閣・商店街などが登場していないことが分かったため。また、プリズムホールと各セクターの間に橋渡し役として各中間支援施設を明記することも合わせて提案する。
 - ② 【資料1】で記載されている「八尾市の芸術文化に関する市民アンケート調査結果」から「鑑賞場所は、不満より満足が多い結果」と「鑑賞・活動場所の情報提供は、満足より不満が多い結果」を踏まえて、情報提供の不満解消のためにネットワークを構築し活用することを提案する。また有機的ネットワーク構築の目的に左記の提案から実施されたことを明確化していくこと。さらに、このネットワークを張り巡らせることで“誰も取り残されることのない社会づくり”の意識付けや八尾市第6次総合計画における「共創と共生の地域づくり」に寄与することも合わせてお伝えする。
 - ③ ネットワークの構築状況についてPDCAサイクルによる検証と課題を随時行うことで、10年後の「第3次八尾市芸術文化振興プラン」には更に有機的なネットワークになるように更新出来ることを提案する。

○ 「第11回プリズム運営ネットワーク会議」へ参加(2月)

- ・ 2016(平成28)年3月24日に第1回が開催されてから、毎回の会議に参加して来た。
- ・ 参加メンバーのFMちゃお・観光協会・つどい・プリズムホールの近況状況報告を行った。
- ・ 来年度からの会議の開催について意見交換を行い、中間支援の立場から各八尾市の施設をお招きして活動等の情報収集や関係性の強化を図る場をつくることで、施設間連携をより深めていくことを提案。
- ・ また、来年度の八尾市の機構改革により、文化財関係の部署が教育委員会から市役所の部署に移管され、観光・文化・歴史(文化財)がひとつの部署になることもあり、来年度からは提案に則って開催回数も増やし、施設間連携を深めて行くための会議を行うことになった。
- ・ プリズムホールがアーティストの人材把握やマッチングシステムの構築、よろずお困り相談を今後実施される。これは「つどい」で行って来た業務内容を参考に、文化芸術施設が中間支援機能として提供して行くことを情報収集することが出来、公益的な活動の活発化に寄与できた。

○ 相談業務から井戸端会議への発展を通じた「地域分権・共創と共生の地域づくり」の機運づくり(3月)

- ・ 西山本小学校区の住民が地域猫の活動を始めるにあたり、個人や町会の活動では限界を感じていた。その中で、活動先や取組む団体を紹介し、活動参画へつなげるためのインターネットポータルサイトを作成する必要があると考えていた。インターネットポータルサイトの作成は、地域活動団体に相談があったが対応が出来ないため、地域活動団体が相談者に「つどい」を紹介された。
- ・ 「つどい」では、八尾市内で地域猫に取り組む方をポータルサイトで情報提供を行うこ

とや、また地域猫の活動に参画したい方へ情報提供を行うことは、中間支援組織として意義があるため、「つどい」ホームページからリンクを貼り、作成・更新を「つどい」で担うことを提案した。

- ・ポータルサイト作成にあたり、相談者のお住まいの西山本小学校区や活動の情報収集先である堤町がある山本小学校区を対象に地域猫で活動している町会・個人・つどい登録団体「八尾ねこの会さくら」に加えて西山本・山本両小学校区まちづくり協議会に「つどい」からお声がけを行い、井戸端会議に参加をしてもらった。
- ・顔合わせを通じて、地域全体の取組みになること、ポータルサイトを通じた情報提供で活動や人材の発掘につなげることを話し合った。また、市民主体のまちづくりの機運づくりとして「まち協」の意義（地域分権）について情報共有を行った。地域で猫が取り残されないよう安心して暮らせる「共生」と、多様な活動主体が結集し、アイデア創出と実践の「共創」づくりにつなげた。
- ・校区まちづくり協議会に携わる見込み者・ポータルサイトで支援する人材・つどいに携わりたい人材などを発掘することが出来、顔見知りの関係につなげることが出来た。また若年層の人材発掘にもつながった。
- ・「山本小学校区みんなで協働づくり宣言」の配付と趣旨説明も行き、西山本小学校区まちづくり協議会の方にも再度、お伝えすることが出来た。

○ 地域猫ポータルサイトづくりへの着手(3月)

- ・相談業務・井戸端会議の開催を通じて、ポータルサイトづくりの作成について賛同をいただけたこともあり、3月20日に相談者とインターネット作成者との話し合いを「つどい」で行った。今後、サイトを連携作成する予定。

(2)「つどい」の管理運營業務

①管理運營業務の内容

○ 月別開館日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 小計
開館 日数	0	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 小計
開館 日数	23	21	20	20	20	21	125

年間	125
----	-----

- ・4月～9月は0日、10～3月は125日開館
- ・4月～9月は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館対応を行ったため、開館日無し。
- ・臨時休館期間の延長についての情報発信は、つどいWeb「つどいトピックス」にて行った。

②管理運營業務の内容

【ア】登録団体の募集・登録・廃止及び登録団体との連絡に関わる業務

- ・合計 349 団体

○ 登録団体状況の把握、更新作業の検討(4月)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うコミュニティ政策推進課からの登録団体への活動自粛要請文の連絡を送信した際、メールアドレスの更新が出来ておらず送信できない 団体が60団体あることがわかった。
- ・原因追及と代筆による登録情報更新を順次行い、登録団体との連絡手段の一覧表を作成した。

- 登録状況の確認について:登録団体の再確認(11月～1月)
 - ・ 「つどい」の開設から16年が経過し、様々な理由で登録情報と現状が異なるため、8年振りに全登録団体(346団体)を対象に「登録団体の再確認の実施計画(案)」を作成した。
 - ・ 委託元と検討の上、11月22日(日)に全登録団体へ「登録団体確認書」等を郵送した。
 - ・ 1月22日(金)に全登録団体(346団体)の登録団体確認書の提出及び登録状況の確認を完了した。
- 登録廃止申請団体(87団体)の分析及びデータベースの改善(2月・3月)
 - ・ 登録年度別で廃止申請をした団体の傾向を分析した。
 - ・ 今後、登録団体を対象にアンケートをとる際の質問項目の検討材料とする。
 - ・ データベースの改善:登録状況の確認の実施にあたり、①情報開示の未入力時のアラート表示、②会員数のテキスト入力欄追加(総数、団体数、世帯数)、③団体Web及び団体SNSのチェック項目の追加による数量化、WebのURL及びSNSのアカウント入力欄の追加を行った。
- 登録団体数の月別登録・廃止状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録団体数	355	355	354	354	354	354	346	346	346	347	349	349	—
登録	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	5
廃止	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	11

【イ】メールボックスの利用団体の募集・受付・廃止及び貸出等の管理業務

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館対応により更新依頼は停止中。
- ・ 年度末にメールボックスの利用期間の更新が迫ったため、例年、つどい登録団体へ郵送している【「メールボックス」利用登録について(お願い)】を作成(委託元へ確認中)。

年度	利用団体数	年度	利用団体数	年度	利用団体数	年度	利用団体数
2004 (H16)年度	10	2009 (H21)年度	20	2014 (H26)年度	38	2019 (R1)年度	52
2005 (H17)年度	13	2010 (H22)年度	43	2015 (H27)年度	44	2020 (R2)年度	52
2006 (H18)年度	14	2011 (H23)年度	17	2016 (H28)年度	47		
2007 (H19)年度	16	2012 (H24)年度	38	2017 (H29)年度	52		
2008 (H20)年度	17	2013 (H25)年度	44	2018 (H30)年度	47		

※ 平成16年度 備考:10月「つどい」が開設。

※ 平成24年度 備考:登録団体情報を印字した各申請書類等の投函サービスを開始。



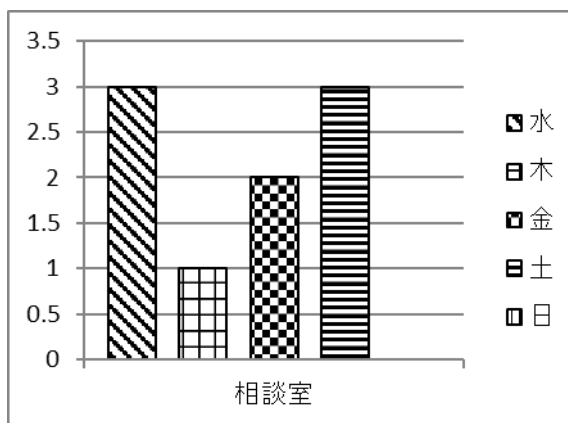
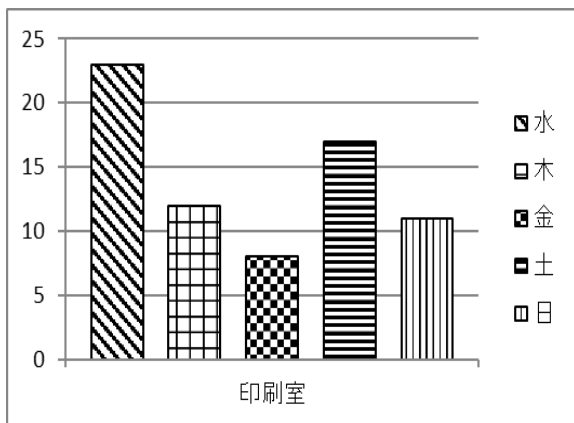
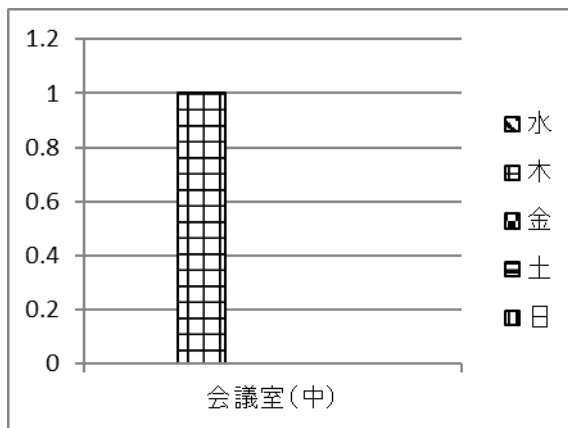
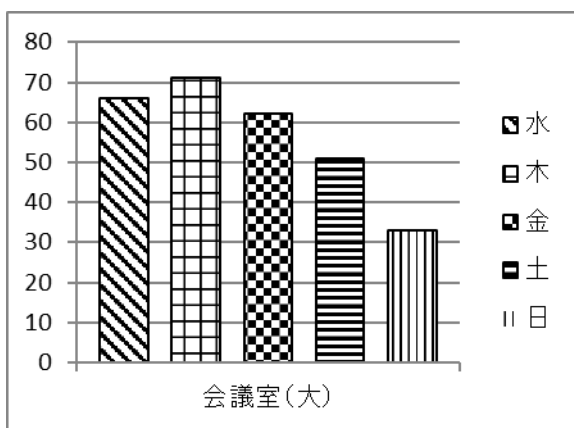
印刷室にある印刷用紙保管引出

【ウ】 会議室及び備品（印刷機、コピー機）の貸出等の管理・保守業務

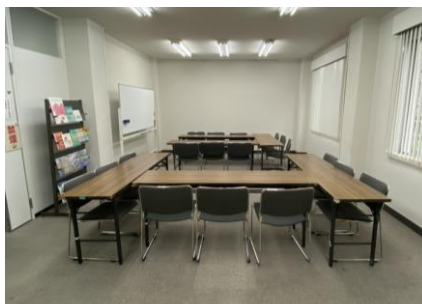
○ 会議室・印刷室使用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
（大議 ）室	2020年度	0	0	0	0	0	0	18	20	10	12	19	21	100
	2019年度	23	25	26	19	20	21	21	29	24	19	22	0	249
	2018年度	19	24	24	24	19	20	25	24	20	26	23	27	275
（中議 ）室	2020年度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	2019年度	20	25	26	25	21	28	27	26	17	22	28	0	265
	2018年度	25	21	28	20	21	23	23	23	19	22	22	27	274
印刷 室	2020年度	0	0	0	0	0	0	16	14	9	5	9	17	70
	2019年度	29	34	36	30	19	31	33	29	26	25	29	0	321
	2018年度	28	27	38	29	26	38	33	31	17	29	37	35	368

※ 2017年度から集計方法を変更：印刷室利用の集計は1時間以内の利用も全て集計（カウント）を行い、作業スペースの集計を廃止した。



会議室(大)



会議室(中)



印刷室

○ 相談室利用団体数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	1	6	1	1	0	0	9
2019年度	12	9	4	4	6	18	18	12	9	9	6	0	107
2018年度	2	8	6	6	5	2	2	2	6	7	4	8	58

○ 印刷機利用状況

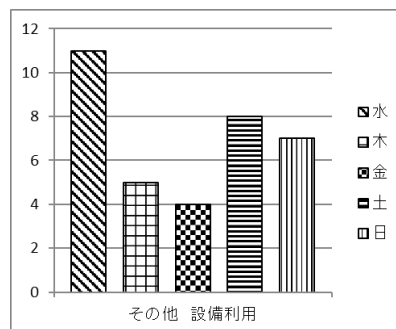
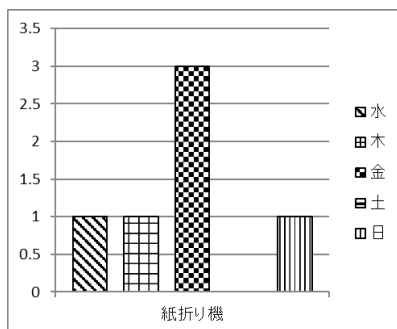
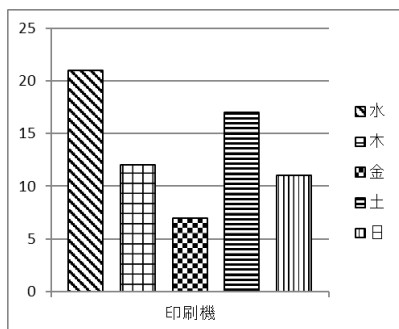
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	15	13	8	5	9	18	68
2019年度	28	34	33	26	17	30	31	25	22	22	25	0	293
2018年度	27	25	36	28	23	36	29	27	15	29	32	31	338

○ 紙折り機利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	1	6
2019年度	2	7	0	6	1	6	2	2	4	4	2	0	36
2018年度	5	4	4	4	2	5	2	1	3	3	3	1	37

○ その他利用状況（裁断機・ラミネーター・コピー機・パソコン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	5	9	6	4	3	8	35
2019年度	10	10	4	14	7	13	7	14	11	11	11	0	112
2018年度	17	14	8	13	15	12	13	11	6	6	17	14	146



印刷機



紙折り機



裁断機(左)・ラミネーター(右)

【オ】 各団体の掲示物・郵便物の受付・掲示業務



1階館外配架スペース



1階外壁の館外掲示板



1階館内配架スペース①



カウンター設置
(登録団体向けの配架のご案内掲示)



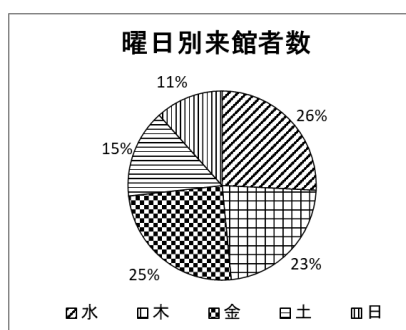
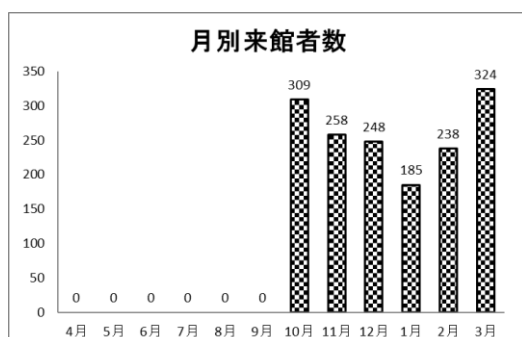
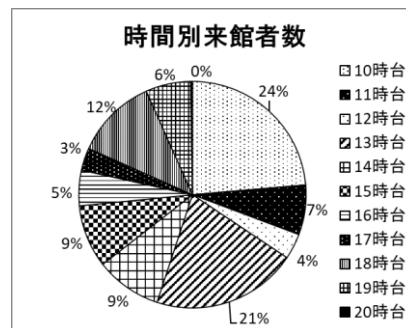
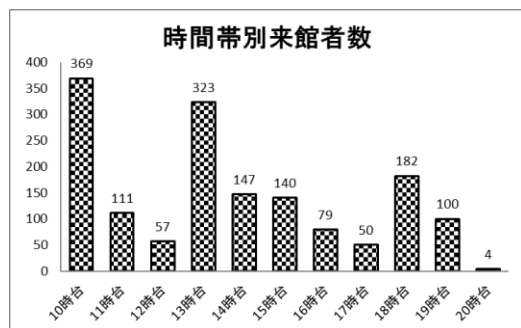
1階壁側館内配架・掲示スペース

※ 臨時休館中に、業務責任者をあしらったウエルカムボードを入口扉のガラス面に設置をした。

【キ】 その他、「つどい」の管理運営に付随する業務

○ 来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	309	258	248	185	238	324	1562
2019年度	519	630	680	543	480	654	660	640	518	548	629	8	6509
2018年度	490	573	582	575	546	479	529	522	451	494	486	495	6222



○ 館内敷地及び周辺の清掃及びリノベーション（5月）

- ・ 雨水桝、排水溝のボウフラ・コバエの駆除剤の散布と防虫ネットの取り付け(5月15日)。
- ・ 雨水タンク・避難通路の清掃及びトイレの窓の屋外側の土ぼこりの清掃(5月16日)。
- ・ 自転車置き場の物品整理及び清掃(5月17日)。
- ・ 階段の壁面のリノベーション作業を市民活動団体有志のご協力により実施(5月23日及び24日)。
- ・ ボウフラ繁殖の可能性がある「つどい」裏の水路の不法投棄物の撤去及び清掃を市民活動団体有志のご協力により実施(5月31日)。

○ 臨時休館延長を想定した活動自粛時の支援の検討(6月)

- ・ 委託元との話合いにより、6月も臨時休館が延長される可能性が非常に高いことがわかり、状況を把握及び共有することが出来た。
- ・ 市民活動団体が行事開催ではなく団体運営上、打合せや総会の開催が必要になった際の部屋及び印刷機の提供を「つどい」以外で代替先をご案内出来るように検討・準備を行った。

○ トイレ扉枠の朽ちた部分の除去（8月）

- ・ 八尾市総務課連絡済。

○ 使用しない過去の行事・講座・交流会資料の廃棄（8月）

- ・ 有価物とシュレッダー処理が必要なものに分別して実施。

○ 防犯カメラの改善（8月）

- ・ たばこのポイ捨て防止等の抑止圧を目的に防犯カメラを設置していたが「めだかの壺」の盗難を機に、これまでの目的に加え、SDカードを入れて録画を開始した。

- **開館及び各種業務の再開について（9月）**
 - ・ 8月31日に八尾市立コミュニティセンターが10月から開館の再開にあわせて「つどい」も10月1日から開館を再開することになると委託元から連絡があった。
 - ・ 八尾市ホームページに公開されている「八尾市立コミュニティセンターにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を基に、9月2日（水）にスタッフで開館及び部屋利用・設備利用における諸準備について、打合せを行った。
 - ・ 開館に向けて、部屋利用の貸出検討、貸出時の手続き等の準備、掲示・ホームページでの掲載準備、「感染防止宣言ステッカー」及び「大阪コロナ追跡システム」のQRコードの掲示などに取り掛かった。
 - ・ 9月27日（日）に登録団体へ「開館及び各種業務の再開について【お知らせ】」を郵送した。

- **館内1階及び2階の模様替え（12月）**
 - ・ コロナウイルス感染拡大防止も意識し、年末に模様替えを実施（2階に執務室を移動）。

- **新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出による開館時間の変更（1月）**
 - ・ 1月14日（木）から2月7日（日）まで（水）～（金）の開館時間が20時までに短縮された。
 - ・ 期間中に夜間を予約していた団体には直接連絡を実施し、調整を行った。
 - ・ 開館時間変更についての情報発信は、つどいWeb・つどいブログ・SNSにて実施。

- **開館時間の変更の周知（3月）**
 - ・ 「つどいホームページ」の「つどいトピックス」にて3月から緊急事態宣言の解除により、通常開館になったことを3月1日に掲載を行った。
 - ・ 「つどいホームページ」の「つどいトピックス」にて4月からの開館時間の変更（夜間原則閉館）を3月1日に掲載を行った。また3月4日には「つどいFacebookページ」に同様の内容を掲載した。
 - ・ 上記に関する変更の周知は部屋利用や設備利用等の来館者には口頭でお知らせを行った。
 - ・ 4月からの開館時間変更のご案内文を作成し郵送にお知らせすることを提案（委託元へ確認中）。
 - ・ 3月31日閉館後に「つどいホームページ」のトップページに掲載している開館時間の掲載内容を変更した。

【参考資料・参考閲覧】

- ・ 「つどい登録団体」→[つどいホームページ「つどい登録団体紹介」](#)
- ・ 「つどいの情報発信」→[「つどいホームページ」](#)及び[「つどいブログ」](#)及び
[「つどいFace book」](#)及び[「つどいツイッター」](#)及び[「つどい Instagram」](#)